# 北部コミュニティセンター改修工事

		機 械	
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
M-00	表紙・図面リスト		
M – O 1	機械設備 特記仕様書 (1)	M-26	体育館 空調設備 1階平面図②(改修)
M-02	機械設備 特記仕様書 (2)	M-27	空調設備 断面詳細図(改修)
M-03	機械設備 特記仕様書 (3)	M-28	体育館 空調換気設備1階平面図(撤去・改修)
M-04	機械設備 特記仕様書 (4)	M-29	体育館 衛生器具リスト (撤去、改修)
M-05	配置図・付近見取図	M-30	体育館 衛生設備1階便所平面図(撤去・改修)
M-06	空調換気設備 機器リスト (撤去・改修)		
M – 0 7	空調換気設備 1階平面図(改修)		
M-08	空調換気設備 2階平面図(改修)		
M-09	空調換気設備 1階平面図(撤去)		
M – 1 0	空調換気設備 2階平面図(撤去)		
M – 1 1	空調換気設備R階平面図(改修)		
M-12	衛生設備機器表(撤去・改修)		
M-13	衛生設備系統図(撤去、改修)		
M — 1 4	衛生設備 配置図(改修)		
M-15	衛生設備 配置図(撤去)		
M-16	受水槽廻り詳細図(改修)		
M — 1 7	衛生設備 1階平面図(改修)		
M – 18	衛生設備 2階平面図(改修)		
M – 19	衛生設備 2階平面図(撤去)		
M-20	衛生設備 1 階便所平面図 (撤去・改修)		
M-21	衛生設備 2 階便所平面図 (撤去・改修)		
M-22	衛生設備R階平面図(改修)		
M-23	衛生設備 R階平面図(撤去)		
M-24	体育館 空調機器リスト (撤去・改修)		
M-25	体育館 空調設備 1階平面図①(改修)		

	月 日 訂正者 訂正內容			□ — F No.	No.	作成年月日	承諾	名 称		
	0	۰	•						北部コミュニティセンター	-改修工事
訂正	0	•	•			& 仁 左 日 口	+n n	図表々称		<del></del>
	0	۰	•	F D No.		発行年月日	12 크	図面名称	表紙・図面リスト	Mi 尺 ————————————————————————————————————
	•	•	•						女郎 四面ノハー	

機械設備工事特記仕様書 北部コミュニティセンター改修工事 │●施工中の安全確保│工事現場周辺の状況を調査判断し、本工事施工によって生じる騒音、振動、大気汚染、 水質汚濁等の影響が生じないよう、周辺環境の保全に努める。工事に関して、第三者か I. 工事概要 ら説明の要求又は苦情があった場合は、受注者の責任において直ちに誠意をもって対応 1. 工事場所 守口市淀江町6番3号 (1, 1, 3, 5) < 1, 1, 3, 5 > 2. 建物概要 構造 │ 階数 │延面積 (m2) │消防法令別表第一 │耐震安全性の分類│ 備 考 RC造 2階 コミュニティセンター 〇交通安全管理 |工事期間中道路面には、一切車両を駐車しないようにすると共に、工事関係車両の出入 RC造 1階 体育館 りについては、必ず誘導員又は交通整理員を立て、交通渋滞、住民等の安全に留意する こと。また、工事着手前に警察、その他関係機関、地元自治会、監督職員などと十分打ち |合わせのうえ、安全管理を行う。 (1. 1. 3. 6) <1. 1. 3. 7> │●災害等発生時の │災害及び事故が発生した場合は、人命の安全確保を優先するとともに、二次災害の防止 3. 工事種目 ●印をつけたものを適用し、各一式とする。 安全確保 |止に努め、その経緯を監督職員に報告する。 (1, 1, 3, 7) < 1, 1, 3, 8> 工事項目/棟別及び屋外 屋内 屋外 ●施工中の |関係法令に従い、工事の施工の各段階において、騒音、振動、粉塵、臭気、大気汚染、 空気調和設備 0 0 環境保全等 |水質汚濁等の影響が生じないよう、周辺環境の保全に努める。塗料、その他の化学製品 0 0 換気設備 0 0 の取扱いに当たっては、当該製品の製造者が作成したJIS Ζ 7253を常備し、記 排煙設備 0 0 0 0 載内容の周知徹底を図り、作業者の健康、安全の確保及び環境保全に努める。建設事業 自動制御設備 0 0 0 |及び建設業のイメージアップのために、作業環境の改善、作業現場の美化等に努める。 衛生器具設備 0 0 0 0 (1. 1. 3. 8) <1. 1. 3. 9> 給水設備 0 0 0 ●図面照査 |設計図書の照査及び現場調査を行い、報告すること。 排水設備 0 0 0 0 給湯設備 0 0 0 0 (1) 工事の着手に先立ち、施工調査を行い、報告書を提出すること。施工調査の内容 ┃●施工調査 消火設備 0 0 0 0 0 は次による。 厨房機器設備 0 0 0 0 0 調査項目 改修対象建物及び同建物内設備配管・ダクト等・屋外埋設配管等埋設物 0 0 ガス設備 0 調査範囲 本工事と取り合いのある範囲及び本工事の施工により影響が及ぶ範囲 さく井設備 0 0 0 0 0 調査方法 スケール・レベル・目視による他、監督職員との協議による 浄化槽設備 0 0 0 0 0 (2)次の関係者と当該工事に必要な事前打合せを行う。 機械式駐車設備 0 0 0 ●施設管理者 ○当該施設の電気主任技術者 ○関係官公署(建築主事、消防署等) 0 井水揚水設備 0 0 0 0 ●電気事業者 〇 ( ) <1.1.5.1><1.1.5.3><2.2.7.1><2.2.8.1><2.2.8.2> 撤去工事 0 0 0 │○ 地中埋設物等 |標準仕様書又は改修標準仕様書によるほか、下記による。<2.4.1.1><2.4.1.2><2.5.2.1> 0 0 環境配慮改修工事 0 0 0 施工前に、当該工事にかかわる地中埋設物等(建物内又は既設コンクリート内の既設配管 建築工事 0 0 電気設備工事 0 0 0 0 0 |配線を含む)について事前調査を行い、報告書を提出すること。既設構造物の位置及び |既設埋設配管の経路等が不明な場合は、探査方法及び試験堀方法を監督職員と協議する。 Ⅱ.機械設備工事仕様 (1. 1. 3. 9) <1. 4. 1. 1><1. 5. 1. 1><1. 5. 1. 2> │●再資源化を図るもの │●発生材の処理等 1. 共通仕様 ○コンクリート塊 ○アスファルトコンクリート塊 ○コンクリート2次製品 ○建設発生木材 1)本仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の仕様書等による。 ●再生資源利用〔促進〕計画(実施)書を提出する。 ・公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和4年版)(以下「標準仕様書」という。) (建設副産物対策近畿地方連絡協議会編) ・公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和4年版)(以下「改修標準仕様書」という。) ●産業廃棄物の処理 ・公共建築設備工事標準図(機械工事編)(令和4年版)(以下「標準図」という。) 関係法令に従い、構外搬出適切処理とし搬出書類等提出する。 ・建築物解体工事共通仕様書・同解説(令和4年版)(以下「解体共通仕様書」という。) ●産業廃棄物管理票(マニフェスト)の写しを提出する。 |○引き渡しを要するもの (○コニット形エアコンディショナー 2) 工事種目に電気設備工事及び建築工事を含む場合は、その仕様は当該図面による。 |○現場において再利用を図るもの ( 2. 特記仕様 1)項目及び特記事項は、※印または●印を適用とし、●印を優先とする。 2)特記事項に記載の( )内表示番号、〈 >内表示番号、【 】内表示番号及び[ ]内表示番号に ●機材の品質等 |別記(設備機材)に掲げる設備機材は、(一社)公共建築協会発行「建築材料・設備機材等。 ついて、それぞれ標準仕様書、改修標準仕様書、建築改修標準仕様書及び解体工事共通仕様書の 品質性能評価事業設備機材等評価名簿」に記載されたもの(ただし、評価の有効期限内 編・章・節・項を示す。 |のものに限る)を使用する。この場合、評価書の写しをもって、標準仕様書第1編1.4. |2(3)の品質及び性能を有することの証明となる資料(製作図、試験成績書等は除く)に 項 目 特 記 事 項 に替える。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 |●設計図書の (1) 質問回答書(以下(2) から(5) に対するもの) 優先順位 (2)現場説明書 本工事に使用する設備機材等のうち、設備機材等指定表等により特定のものが特記され (3)特記仕様書 |た場合は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものを使用する。ただし、同等 (4)図面 のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 (5)標準仕様書·改修標準仕様書 ●建築材料 |建物内部(天井裏、床下、PS、EPS、DS等を含む)及びダクト等の内部に使用する。 (1, 1, 1, 1) < 1, 1, 1, 1 > 以上(1)から(5)の順番のとおりとする。 ·設備機器 下記に掲げる各材料・機材等は、それぞれに定められた基準等に適合するものを選定 |ただし、明示なき材料、仕上げ等については、監督職員の指示による。 する。 材料等 基 準 等 ①接着剤 │次の1、2及び3を満足するものとする。 1 ホルムアルデヒド放散等級がF☆☆☆☆の規格に適合しているも │● 官公署その他へ |工事関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続き等は全て受注者が行うこと。 のであること。 の届出手続等 (1. 1. 1. 3) <1. 1. 1. 3> 2 アセトアルデヒド及びスチレンが発散しないか、発散が極めて少 ないものであること。 (1.1.1.4)<1.1.1.4>| | 項 | |●工事実績情報の登録 |※ 行う (適用する) ○ 行わない 3 トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ないもので |●情報通信の技術の利用|書面により行う(補完的に電子メール等を活用できる)。 (1. 1. 1. 5) < 1. 1. 1. 5> あること。なお、接着剤は可塑剤が添加されていない材料を使用す る。(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を |●他工事との取合い|別記工事区分表による。 (1, 1, 1, 7) < 1, 1, 1, 7> 含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものは除く) |●疑義に対する |設計図書に定められた内容に疑義が生じた場合又は現場の納まり取り合い等の関係で設 協議等 ②保温材 |次の1、2を満足するものとする。 |計図書によることが困難若しくは不都合な場合が生じた時は、監督職員と協議する。 1 ホルムアルデヒド放散等級がF☆☆☆☆の規格に適合しているも 緩衝材 (1, 1, 1, 8) < 1, 1, 1, 8> 断熱材 のであること。 ●概成工期 現場説明書による。 2 アセトアルデヒド及びスチレンが発散しないか、発散が極めて少 ●実施工程表 |工事の着手に先立ち、実施工程表を作成し、監督職員の承諾を受ける。 ないものであること。 (2, 3, 1, 2)|実施工程表を変更する必要が生じた場合は、施工に支障が無いよう実施工程表を直ちに ③塗料 次の1、2及び3を満足するものとする。 変更し、当該部分の施工に先立ち、監督職員の承諾を受ける。 (1.1.2.1) <1.1.2.1> 1 ホルムアルデヒド放散等級がF☆☆☆☆の規格に適合しているも ●施工計画書 (1) 工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた施工計画書(総合施工計画 のであること。 書)を作成し、監督職員に提出する。 2 アセトアルデヒド及びスチレンが発散しないか、発散が極めて少 (2) 品質計画、施工の具体的な計画並びに一工程の施工の確認内容及びその確認を行 ないものであること。 う段階を定めた施工計画書(工種別施工計画書)を、工事の施工に先立ち作成 3 トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ないもので し、監督職員に提出する。 あること。 (3) (1), (2)の施工計画書のうち、品質計画に係る部分については、監督員 ④設備機器 |製品を構成する建築材料は、次の1及び2を満足するものとする。 の承諾を受ける。また、品質計画に係る部分について変更が生じる場合は、監督 1 ホルムアルデヒド放散等級がF☆☆☆☆の規格に適合しているも 職員の承諾を受ける。 (1. 1. 2. 2) <1. 1. 2. 2> のであること。 現場説明書による。 ●施工条件 (1, 1, 3, 3) <1, 1, 3, 3> 2 アセトアルデヒド及びスチレンが発散しないか、発散が極めて少 少ないものであること。 〇電気保安技術者 |標準仕様書又は改修標準仕様書に規定する電気保安技術者をおくものとする。 (1. 1. 4. 1) < 1. 1. 4. 1> 電気保安技術者は、(事業用電気工作物に係る工事の場合、電気事業法に基づく電気主任

	〇建築物省エネ法 対象機器	本工事は、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律(平成27年法律第53条)第13条第2項に規定する建築物エネルギー消費性能確保計画の通知を行っている。通知の詳細は監督員に確認すること。対象設備 〇空調熱源設備 〇空調外気処理設備 〇換気設備 〇給湯設備 〇給湯設備 〇総湯設備
	○機材の検査に伴う	機材の品質及び性能を試験により証明する場合は、試験に先立ち試験計画書を作成のう
	試験	え、監督職員に提出し、原則として監督職員の立ち会いを受けて行う。   ただし、監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。
	────────────── 〇色彩による表示、 標識その他	監督職員の指示による。 (1.1.4.2)(1.1.7.4) (1.1.4.2)<1.1.8.5>
	● 機器及び配管の 文字書き	屋外の文字書きは、カッティングシートや調合ペイント等耐久性のあるもので記入する。
	●技能士	適用する資格は下記による。 (1.1.5.2) <1.1.6.2> ● 1級配管技能士(配管工事) ● 1級熱絶縁施工技能士(保温工事) ● 1級建築板金技能士(ダクト製作及び取付)
	 〇見本施工の実施	● 1 級冷凍空気調和機器施工技能士 (チリングユニット、パッケージ形空気調和機の据付及び整備) 図示による。 (図面番号 ) (1.1.5.4)<1.1.6.5>
	〇化学物質の濃度 測定	実施する(※施工完了後 〇着工前・施工完了後) (1.1.5.8)<1.1.6.9> 測定対象化学物質 ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン 測定対象室及び測定箇所数
		<u>室 名                                  </u>
		測定方法は監督職員の指示による。
	〇中間技術検査の 実施	検査の実施に関する取り扱い要領により中間技術検査を  行う。
	●完成時の提出図書	次の図書を提出する(機器製作図含む)。 (1.1.7.1)~(1.1.7.3)<1.1.8.1>~<1.1.8.4>
<del>-</del>		<ul> <li>●完成図         <ul> <li>(1)標準仕様書に基づき作成する。又は設計図に基づき全ての図面を完成図として作成する。その場合は施工図を完成図に添付するものとする。製本サイズ(●A1 ○A2 ●A3)2部</li> <li>(2)原則として黒文字製本とし、表紙の書き方は監督職員の指示とする。</li> <li>(3)完成図CADデータを提出する。参考CADデータの貸与 ○あり ●なし</li> </ul> </li> <li>●保全に関する資料等 (※1部 ○「」部)             <ul> <li>建築物等の利用に関する説明書、機器取扱い説明書、機器性能試験成績書、官公署届出書類、主要機器一覧表、総合調整測定表、連絡先、保証書、資格一覧表を提出する。</li> </ul> </li> </ul>
į	●工事写真・完成	<ul> <li>●その他の引き渡し書類 施工図(制御システム図・機器配管固定の施工図等)、施工計画書、各種承諾図、工事写真、その他各種検査書類等を整理し、監督職員の指示する部数を提出する。</li> <li>○既存完成図の修正(多年度継続工事の場合) 既存完成図を今回工事の内容を含んだものに修正し、全体完成図として提出する。</li> <li>●工事写真 「工事写真の撮影要領(建築工事・設備工事)」による。</li> </ul>
	写真	●完成写真 ※工事写真に準じて作成する。       ○下表による。       (1.1.2.4)<1.1.2.4>         分類・規格       撮影枚数       部数       原板の大きさ(mm)         ○カラーサービス版       ○0       ○6       ○9
		○カラーキャビネ版 監督職員指示箇所 (ただし、上記写真は、アルバム製本とする。)
	●電動機	○完成写真として、全紙パネルを 部提出する。   電動機出力が0.75kW以上の低圧三相かご形誘導電動機の規格は、JIS C 4213 (低圧三相 かご形誘導電動機-低圧トップランナーモータ) による。 (2.1.2.1)
	●制御及び操作盤	機器に付属する制御及び操作盤の仕様の優先順位は、次の(1)~(3)の順番のとおりとする。
Į.		(1) 図示による。(図面番号 ) (2) 標準仕様書第 2 編表 2.1.6~2.1.8による。 ただし、標準仕様書各編で製造者の標準仕様と明示されたものは除く。また、同 表の各機材ごとの△印の項目の適用は、 ○適用する ○適用しない インバータ用制御及び操作盤の仕様において標準仕様書第 2 編1.2.2.2
		の規定を ●適用する (高調波対策 ●要 〇不要) ○適用しない (3)製造者の標準仕様 (2.1.2.2)<2.1.2.1>
	●空気調和設備総	●風量調整(測定共)SA・RA・0A風量 ●水量調整(測定共)加湿器(2.1.3.3)<2.1.3.3> ●室内外空気の温湿度測定 ○室内気流じんあいの測定 ●騒音の測定(測定箇所及び規制値は図示による)室内機・室外機
	合 ● 換気設備	<ul><li>■風量調整(測定共) ○室内気流じんあいの測定 (2.1.3.3)&lt;2.1.3.3&gt;</li><li>●騒音の測定(測定箇所及び規制値は図示による)</li></ul>
	調 〇排煙設備	〇風量調整(測定共) 〇騒音の測定(測定箇所及び規制値は図示による)(2.1.3.3)(2.1.3.3)
	●給水設備 整 	●飲料水の水質の測定 ● 平成15年3月25日付け厚生労働大臣告示第119号第二の一の1の(4)による ○水道法施行規則第10条による水質検査 ○雑用水の水質の測定

章

月 日 訂正者 | 訂正内容

(1. 1. 3. 2) < 1. 1. 3. 2 >

│なお、F☆☆☆☆の規格に適合するものと規定された材料等で、F☆☆☆☆に適合する材

料等がない場合は、監督員と協議を行うこと。

|技術者の業務を補佐すると共に)、監督職員の指示に従い、当該現場における電気工作物

の保安業務を行うものとする。

FD No.

	●継手	管端コア付鋼管を除く塩化ビニルライニング鋼管、耐熱性塩化ビニルライニング鋼管及びポリ粉体鋼管で、ねじ接合する場合の継手は管端防食継手とし、パイプニップルは管端防食継手用パイプニップルとする。 (2.2.1.2)呼び径60Su以下の一般配管用ステンレス鋼管 (2.2.5.7)
		O プレス式 O 拡管式 O
	●一般用弁の耐圧	図面に明記なき一般用弁の耐圧は、下記による。 水道直結配管に使用する弁は、JIS又はJV 0.98MPa(10K)弁とする。 その他配管に使用する弁は、※JIS又はJV 0.49MPa(5K)弁 〇JIS又はJV 0.98MPa(10K)弁
	〇鋼管用伸縮管継手	※ベローズ形 〇スリーブ形 (2.2.2.7)
	●異種管の接合及 絶縁継手	●異種管の接合要領 (2.2.5.16) < 2.2.3.17> ※標準図(施工3) ○図示 (図面番号 ) ○機器接続部の金属材料と配管材料のイオン化傾向が大きく異なる場合 (鋼とステンレス、銅と鋼)は、絶縁継手を使用し、設置箇所及び絶縁継手の仕様は図示による。 (図面番号 ) (2.2.2.12)(2.2.4.1) < 2.2.2.1>
ŀ	 ○量水器	○直読式 ○遠隔式 (2.2.2.16)
	〇緊急遮断弁装置	駆動方式 〇電気式 〇機械式 (2.2.2.22)
	〇水栓柱	本体 ※合成樹脂製 ○アルミニウム合金製 ○ステンレス製 ○人造石とぎ出し製(2.2.2.23)   寸法 ※約70mm×約70mm×約1,300mmH ○
	〇不凍水栓柱の寸法	※全長約1,500mm O (2.2.2.24)
ŧ	●スリーブ	(1) 外壁の地中部分等水密を要する部分のスリーブ ※つば付鋼管 〇 (2) 地中部分で水密を要しない部分のスリーブ ※ビニル管(VU) 〇 (3) 柱及び梁以外の箇所で、開口補強が不要であり、かつ、スリーブ径200mm以下の 部分 ※紙製仮枠 (4) 上記以外の鋼管製スリーブ ※白管 〇 (2.2.2.27)<2.2.6.1>
	〇瞬間流量計	〇固定形 個 〇着脱可能形(測定用タッピング 個、本体 個) (2.2.3.8)
	〇建物導入部配管	※不同沈下の恐れがない (2.2.4.1) < 2.2.2.1 > < 2.3.11 > 〇不同沈下の恐れがある 標準図(施工4)のフレキシブルジョイントを使用した方法で施工する。ただし、排水及び通気 管を除く。
	○空調機用 トラップの 形式	図示による。 (図面番号 ) (2.2.4.8)<2.2.2.8>
1	〇ファンコイルの 流量弁	〇流量調整弁(図面番号       )       〇定流量弁(図面番号       )       (2. 2. 4. 2)         <2. 2. 2. 2>
	●管の接合	●ビニル管 (※接着接合 ○ゴム輪接合) (2.2.5.9) < 2.2.3.10 > ○ポリエチレン管 (○電気融着接合 ○メカニカル接合) (2.2.5.10) < 2.2.3.11 > ○建物導入部において異種管との接続がある 接続部の点検枡の構造 (○TC-1 ○TC-2) ○架橋ポリエチレン管 (○電気融着接合 ○メカニカル接合) (2.2.5.11) < 2.2.3.12 > ○ポリブデン管 (○熱融着接合 ○電気融着接合 ○メカニカル接合) (2.2.5.12) < 2.2.3.13 > ○耐火二層管 (※接着接合 ○ゴム輪接合) (2.2.5.14) < 2.2.3.15 >
<b>-</b>	〇溶接部の非破壊 検査	(伸縮継手の設置箇所は図示による(図示番号 ))         ※実施しない (2.2.5.15)<2.2.3.16>         ○実施する (○放射線透過検査 ○浸透探傷検査又は磁粉探傷検査)         判定基準 ( )         抜取率は下記による。
		種別 蒸気配管 冷却水、冷温水、 冷温水、 冷海・海・海・海・海・海・海・海・海・海・海・海・海・海・海・海・海・海・海・
		A
į	●配管・ダクトの 吊り及び支持	<ul> <li>(1) 土間埋設配管の吊りはピット内(材質はステンレス鋼製)に準じる。</li> <li>(2) 鋼管、鋳鉄管及びステンレス鋼管の配管呼び径40以下、ビニル管、ポリエチレン管、ポリブデン管及び銅管の呼び径20以下の管の形鋼振止め支持は、 (2.2.6.3)&lt;2.2.4.3&gt;</li> <li>※不要 ●要(支持間隔は図示による。(図面番号 ))</li> </ul>
-	●地中埋設管の埋	(3)吊り及び支持は、標準図(施工13~17)による。 コンクリート管以外の管を地中埋設とする場合は、管及び被覆樹脂を傷めぬよう山砂の
	戻土 ●管の埋設深さ	類で管の周囲を埋戻した後、掘削土の良質土で埋戻す。(2. 2. 7. 1) < 2. 2. 5. 1>(1) 一般敷地※300mm〇(2. 2. 7. 2) < 2. 2. 5. 2>
-	▲ ₩ ₼ ₩ €₽ ₩ ₹	(2)構內車両通路 ※600㎜ 〇
	●地中埋設標及び 埋設表示用テープ	<ul> <li>(1)給水管 地中埋設標 (※要 〇不要) 埋設表示テープ (※要 〇不要)</li> <li>(2)消火管 地中埋設標 (※要 〇不要) 埋設表示テープ (※要 〇不要)</li> <li>(3)ガス管 地中埋設標 (※要 〇不要) 埋設表示テープ (※要 〇不要)</li> <li>(4)油 管 地中埋設標 (※要 〇不要) 埋設表示テープ (※要 〇不要)</li> <li>(5)地中埋設標の設置箇所は図示による。 (図面番号 )</li> <li>(6)埋設給水本管の分岐、曲り部等の衝撃防護措置は図示による。 (図面番号 )</li> <li>(7)埋設表示テープの土被りは150mm程度とする。</li> </ul>
-	●防火区画貫通部 の処理	(2.2.7.1)(6.2.2.3)       (2.2.5.1)       (2.2.3.3)       (2.2.5.1)       (2.2.8.1)       (2.2
-1	 ●保温	(1)保温種別は、標準仕様書第2編表2.3.2及び表2.3.5による。ロックウール

		(3)配管の保温外装は、次による。
		【空気調和設備】(断熱材被覆銅管を含む) 屋内:隠蔽部(機械室等の露出配管、暗渠内を含む) ※不要 ●要
		露出部 ※合成樹脂カバー1 ○合成樹脂カバー2
		〇保温化粧ケース(塩化ビニル樹脂)
		屋外:※ステンレス鋼板 〇溶融アルミニウムー亜鉛鉄板 〇カラー亜鉛鉄板 〇保温化粧ケース (〇塩化ビニル樹脂 〇アルミ合金
		○溶融アルミニウム-亜鉛鉄板 ○ステンレス鋼板)
		保温化粧ケースの下部カバー 〇要 ※不要
		【給排水衛生設備】 屋内:隠蔽部(機械室等の露出配管、暗渠内を含む) ※不要 ●要
		露出部 ※合成樹脂カバー1 ○合成樹脂カバー2
		〇保温化粧ケース(塩化ビニル樹脂)
		屋外: ※ステンレス鋼板 〇溶融アルミニウムー亜鉛鉄板 〇カラー亜鉛鉄板 〇保温化粧ケース (〇塩化ビニル樹脂 〇アルミ合金
		○溶融アルミニウム-亜鉛鉄板 ○ステンレス鋼板)
		保温化粧ケースの下部カバー 〇要 ※不要
		(4) 鋼板製タンクの保温は ※行わない 〇行う(蓋の部分は行わない)   (5) 次のダクト等に保温を行う。
		○換気用ダクト ○外気取入れ用ダクト ○排気用ダクト
		〇空調している建物内の還りダクト 〇屋内外露出排煙ダクト
		<ul><li>●内貼りしたダクト及び内貼りしたチャンバー</li><li>●断熱材付フレキシブルダクト及びたわみ継手</li></ul>
ļ	<u> </u>	●断熱材的プレキジブルダグト及びたわめ継手 ○屋外露出の煙道及び煙突 ○暗渠内のダクト ○厨房排気用ダクト
7		(6)次の管、弁、フランジ等に保温を行う。
		〇放熱器廻り蒸気管及び温水管
		〇蒸気還管 〇蒸気管及び温水管で、屋内及び暗渠内の各種装置廻りの配管
		〇蒸気管及び温水管で、屋内及び暗渠内の弁、フランジ、伸縮管継手、防振継手、
		フレキシフェルジェョイント等
		<ul><li>○冷凍機の冷却水管</li><li>●ポンプ廻りの防振継手、アレキシブルジョイント</li></ul>
		●各種タンク類のオーバーフロー管及びドレン管
		(冷水、冷温水タンクの第1バルブまでを除く)
		○ エア抜弁以降の配管及び排泥弁以降の配管等 ○ 油管 ○ ○ 断熱材被覆銅管
		〇衛生器具の附属品と見なされる器具及び配管
Į.	4	(流し下部の床上排水管を含む)
		● 給水管で、ポンプ廻りの防振継手、フレキシブルジョイント 〇給水及び排水の地中又はコンクリート埋設配管
		●給湯管で、屋内及び暗渠内の弁、フランジ、伸縮管継手、防振継手、フレキシブルジョイント等
		〇保温付被覆銅管
		〇排水管で、暗渠内配管(ピット内を含む)、最下階の床下配管、屋外露出配管 及び耐火二層管
		○通気管(排水管の分岐点より100mm以下の部分を除く)
		〇消火管
		○厨房機器及びガス湯沸器廻りの給水、排水及び給湯管 (7)寒冷地等での保温厚は、図示による。 (図面番号 )
		(8) 高圧(0.1MPa)以上の蒸気管及び蒸気ヘッダーの保温厚は、図示による。
		(図面番号 )
릨	<b>=</b>	(9)ファンコイルユニット等のドレン管の保温は、給排水設備工事の排水管による。 (10)エアー抜き管の保温厚は20mmとし、仕様は当該配管の項に準ずる。
		(11) 保温を施す空調用タンクの蓋の保温 ※要 〇不要
		(12)全熱交換形換気扇の給気ダクトの保温 ※要 〇不要
		(13) 消火用充水タンクの保温 ※要 〇不要 (2.3.1.4)(2.3.1.5)(2.3.1.6)<2.3.1.3>
	● 塗装	(2.3.1.4) (2.3.1.0) (2.3.1.0) (2.3.1.3) (2.3.1.0) (2.3.1.3) (2.3.1.3) (2.3.1.3) (2.3.1.3) (2.3.1.3) (3.3.3.3)
	● 主教	(2) 調合ペイント塗りの塗料 ※JIS K 5516(合成樹脂調合ペイント)の1種 ○
		アルミニウムペイント塗りの塗料 ※JIS K 5492(アルミニウムペイント)の1種 〇
		(3) 電気設備における現場で行う塗装は、以下のとおりとする。 (2.3.2.1) 塗装の色合等は監督職員と協議する。 <2.3.2.1>
		さび止め塗装が施された金属製プルボックス等の機材
		隠ぺい部 ※塗装しない
Į	_   5	屋内露出部 〇 図示による(図面番号 ) 〇 塗装しない 〇 塗装する   屋外露出部 〇 図示による(図面番号 ) 〇 塗装しない 〇 塗装する
		亜鉛めっきが施された機材
		隠ぺい部 ※塗装しない
		屋内露出部 〇 図示による(図面番号 ) 〇 塗装しない 〇 塗装する 屋外露出部 〇 図示による(図面番号 ) 〇 塗装しない 〇 塗装する
	▲工車田仮記物	
	●工事用仮設物	構内につくることが ※できる 〇できない
	●足場・さん橋類 	※ 別契約の関係受注者が定置したものは、無償で使用できる。   ※本工事で設ける場合は、標準仕様書第2編第4章第1節4.1.1又は、改修標準仕様書
		第 1 編第 2 章第 2 節 2. 1. 1によるほか
		足場の設置においては「手すり先行工法に関するガイドライン」について」(厚生労
		働省基発第0424001号平成21年4月24日)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」 により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん
		及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり
		先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手す
		り先行専用足場方式により行うこと。なお単管足場、枠組足場を用いる場合の設置場 所については図示による。 (2.4.1.1)<1.2.2.1>
		内部足場 ※ A 種、B 種、C 種、D 種
		〇F種(くさび式緊結足場) 〇G種(枠組足場)
		外部足場 〇A種(枠組足場) 〇B種(くさび式緊結足場) 〇C種(単管足場)
		※ D 種 、 E 種 O F 種 ( 高所作業車 )
	1	

	〇監督職員事務所 (総合会議室を	仕上げの程度	. ○10㎡程度 (			<u> </u>	1. 1) <1. 2. 3. 1		
	含む)	部 位 床 内壁・天井 屋根	※合板張り	スはビニルシー 又は石膏ボードi 亜鉛めっき鋼板	張り+塗装	0	0		
		〇監督職員事務	所の位置は、図:	示による。(図	図面番号	)			
	○監督員事務所の	監督員事務所の	備品等の種類及		)表による		(2. 4. 1. 1		
	備品	備品の種類   数 量	机・椅子組	書 棚 台	黒板又はホワイトボード  個	掛時計 個			
		備品の種類	ゴム長靴	 雨がっぱ	安全帯	ヘルメット			
		数量	足	<u>着</u>	個	個加工電話機	_		
		備品の種類 数量	懐中電灯 個	衣類ロッカー 人用	冷暖房機器 台	加入電話機 台			
<del>Ļ</del>		備品の種類 数 量	湯沸器台	掃除具 個	パソコン 台	周辺機器	_		
Ε			<u> </u>	-					
	●土工事	※根切り土の ○山砂の類を ●残土処分 ※公的な受入 民間受入施		用し、十分な締 帝め固めを行い が建設発生土 <i>0</i>	、水締めを行う	o	(2. 4. 2. 1 <2. 7. 1. 1		
			場所に敷きなら						
	● コンクリート工事 	図面に明記なき   設計基準強度	コンクリート設 ※18N/m	_	_	下記による。	(2. 4. 4. 1 <2. 7. 3. 1		
		スランプ	,				(2. 7. 0. 1		
<u>f</u>		少量(1 m <sup>3</sup> 以内)	の場合は、配合	計画書により	強度試験を省置	各することが出	来る。		
	●鋼材工事	鋼製架台、はしご等の機器付属金物及び配管、ダクトの支持金物の屋外部分は、ステンレス鋼製(SUS304)又は溶融亜鉛めっき(※2種35 〇2種50)とする。ただし、ピット内等多湿箇所の吊り及び支持金物はステンレス鋼製(SUS304)とする。(2.4.6.2)<2.7.5.2>							
			震力は、機器の	質量(自由表面					
		設計用水平地	ナ及び取付け 震力は、機器の 、地域係数1.0及	質量(自由表面 なび次に示す設 設計用標準水 〇特定	計用標準水平層 平震度 の施設	震度を乗じたも ※一般の	のとする。		
-		設計用水平地	t及び取付け 震力は、機器の 、地域係数1.0及 機器種別	質量(自由表面 なび次に示す設 設計用標準水 〇特定 重要機器	計用標準水平層 平震度 の施設 一般機器	震度を乗じたも ※一般の 重要機器	のとする。 の施設 一般機器		
In <b>it</b>		設計用水平地	ナ及び取付け 震力は、機器の 、地域係数1.0及	質量(自由表面 なび次に示す設 設計用標準水 〇特定 重要機器 2.0	計用標準水平層 平震度 の施設	震度を乗じたも ※一般の	のとする。		
in <del>d</del>		設計用水平地 有効質量)に 上層階・ 屋上及び塔屋	ナ及び取付け 震力は、機器の 、地域係数1.0及 機器種別 機器 防振支持の機器 水槽類 機器	質量(自由表面 なび次に示す設 設計用標準水 〇特定 重要機器 2.0 2.0 2.0 1.5	計用標準水平 平震度 の施設 一般機器 1.5 2.0 1.5 1.0	震度を乗じたもの ※一般の 重要機器 1.5 2.0 1.5	のとする。 の施設 一般機器 1.0 1.5 1.0 0.6		
		設計用水平地 有効質量)に 上層階・	ナ及び取付け 震力は、機器の 、地域係数1.0及 機器種別 機器支持の機器 水槽類 機器支持の機器 機器支持の機器	質量(自由表面 なび次に示す設 設計用標準水 〇特定 重要機器 2.0 2.0 2.0 1.5 1.5	計用標準水平 平震度 の施設 一般機器 1.5 2.0 1.5 1.5 1.5	※一般の 重要機器 1.5 2.0 1.5 1.5 1.0 1.5	のとする。 の施設 一般機器 1.0 1.5 1.0 0.6 1.0		
		設計用水平地 有効質量)に 上層階・ 屋上及び塔屋	ナ及び取付け 震力は、機器の 、地域係数1.0及 機器種別 機器支持の機器 大槽類 機振支持の機器 が構類	質量(自由表面 なび次に示す設 設計用標準水 の特定 重要機器 2.0 2.0 2.0 1.5 1.5 1.5	計用標準水平 平震度 の施設 一般機器 1.5 2.0 1.5 1.0 1.5 1.0	震度を乗じたもの ※一般の 重要機器 1.5 2.0 1.5 1.0 1.5	のとする。 の施設 一般機器 1.0 1.5 1.0 0.6 1.0 0.6		
		設計用水平地 有効質量)に 上層階・ 屋上及び塔屋	ナ及び取付機 では、機 では、係数1.0次 がは、係数1.0次 機 を表する。 機 を表する。 機 を表する。 機 に、機 に、機 に、機 に、機 に、機 に、機 に、機	質量(自由表面 び次に示す設 設計用標準水 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	計用標準水平 平震度 の施設 一般機器 1.5 2.0 1.5 1.0 1.5 1.0 0.6 1.0	震度を乗じたもの ※一般の 重要機器 1.5 2.0 1.5 1.0 1.5 1.0 0.6 1.0	のとする。 の施設 一般機器 1.0 1.5 1.0 0.6 1.0 0.6 0.6		
		設計用水平地 有効質量)に 上層路 ・ 基層 ・ 本層 ・ 1階 ・ 上層 ・ 1階	ナ及力地域機防水機防水機防水機防水機防水機防水機防水機防水機防水機防水機防水機防水機防水機	質量(自示準本 自示準本 で設計用標準 重要 2.0 2.0 2.0 1.5 1.5 1.0 1.5 1.5 1.7~する は上層4階	計用標準水平 で施設 一般機器 1.5 2.0 1.5 1.0 1.5 1.0 1.0 1.0 3.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1	※一般で ※一般で 重要機器 1.5 2.0 1.5 1.0 0.6 1.0 0.6 1.0 1.0 (3.2.1	のとする。  の施設  一般機器  1.0  1.5  1.0  0.6  1.0  0.6  0.6  0.4  0.6  0.6  m建の場合は 1.1)(5.2.2.1		
Į.		設有 上屋 中 地 上上中重給 で	ナ 震、 機防水	質量(自示準本 自示準本 で設計用標準 重要 2.0 2.0 2.0 1.5 1.5 1.0 1.5 1.5 1.7~する は上層4階	計用標度 の施設	震度を乗じたもの ※一般の 重要機器 1.5 2.0 1.5 1.0 0.6 1.0 1.0 1.0 MR 2階、10~12 (3.2.1 (3.1.5)	のとする。  の施設  一般機器  1.0  1.5  1.0  0.6  1.0  0.6  0.6  0.4  0.6  0.6  は1)(5.2.2.1 5.7)(4.2.3.1 .2><3.2.1.1		
		設有 上屋 中 地 上上中重給排機	ナ震、 機防水機防水機防水 機防水 大震、 機防水機防水機防水機防水 大変	質な 設	計平 の 一 に の 一 に の に に の に 。 に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に 。 に の に 。 に の に 。 。 。	震度を乗じたもの ※一般の 重要機器 1.5 2.0 1.5 1.0 0.6 1.0 1.0 MR2階、10~12 (3.2.1 (3.2.1 )。 (3.1.5 <2.4.1 1.2.3.1><5.2.1	のとする。  の施設  一般機器  1.0  1.5  1.0  0.6  1.0  0.6  0.4  0.6  0.6  0.4  1.1)(5.2.2.1  5.7)(4.2.3.1  .2><3.2.1.1  .2><5.2.2.1		
	●はつり	設有 上屋 中 地 上上中重の〇〇〇(2 電す既復ま計効 階及 階 ・ 「	ナ震、 機防水機防水機防水 6建、	質び設	計平の 用震施 用震施 1 2 1 1 1 0 1 1 場 は 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	度を乗じたもの 要 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0	のとする。  の施般 1.0 0.6 0		
		設有 上屋 中 地 上上中重給排換監設 動る存旧たの除用質 階及 階 ・ 階 層層間要水水気視計 リ置いい に 大	ナ震、 機防水機防水機防水 6建、	質な 設	計平の 用震施一 1 2 1 1 1 1 0 1 1 場 は ますと 場 と令がを 来 機 5 0 5 0 6 0 0 は も るす 合 しにあ薬 の は も く4 (()) 自 かさ所に な は も く4 (()) 自 かさ所に で は も く4 (()) 自 かさ所に な は な は かまかまかまかまかまかまかまかまかまかまかまかまかまかまかまかまかまかまか	度を乗じたもの 要 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0	の か か で か で か の の の の の の の の の の の の の		
	<ul><li>●はつり</li><li>●容量等の表示</li></ul>	設有 上屋 中 地 上上中重の〇〇〇(2) 電す既復ま令り機用質 階及 階	ナ震、 機防水機防水機防水 6建、	質び設	計平の 用震施 用震施 1 2 1 1 1 0 1 1 場 は ますと 場 と令がを 水 機 5 0 5 0 6 0 0 合 い 設る に て適る液 で 合 しにあ薬 。 から箇等	度を乗じたもの 要機 1.5 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0	のとする。  の施般 1.5 1.0 0.6 0		
		設有 上屋 中 地 上上中重の〇〇〇(2) 電す既復ま令り機用質 階及 階	ナ震、 機防水機防水機防水の き階の に 対す、ロ業従 学及力地 機 器振槽 器振槽 器振槽 踏以1 の 空危は 鉄ニ配りたい 等取は域 機 支類 支類 支類 建上階の 空危は 鉄ニ配りた、 は付機数 種 持 持 りのを示 調険、筋と管を立除 はけ機数 種 の の の 場場除示 機物設 、。實充ち去 まけ器1 別 機 機 機 合合く。 器貯計 属 通り で される される の及 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	質び設	計平の 用震施 用震施 1 2 1 1 1 0 1 1 場 は ますと 場 と令がを 水 機 5 0 5 0 6 0 0 合 い 設る に て適る液 で 合 しにあ薬 。 から箇等	度を乗じたもの 要機 1.5 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0	のとする。  D施般 1.5 1.0 0.6 0.6 0.6 0.6 0.6 0.7)          はばいのでは、1.1 0.0 0.6 0.6 0.7)          はばいのでは、1.1 0.7 0.7 0.7 0.7 0.7 0.7 0.7 0.7 0.7 0.7		
	●容量等の表示	設有 上屋 中 地 上上中重の〇〇〇(2) 電す既復ま令り 機た ○計効 層上 間 階 層層間要水水気視計 ド装のは、作去 類し 面 階	ナ震、 機防水機防水機防水の きょう アナ・ロ 業従 いい 大震、 機防水機防水機防水の ここの では 大変 では 大変 できない 大変 できない 大変 できない 大変 は 大変 を いっかん は いっかん は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	質な と	計平の 用震施 一	度を乗じたもの 要機 1.5 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0	のとする。  D施般 1.5 1.0 0.6 0.6 0.6 0.6 0.6 0.7)          はばいのでは、1.1 0.0 0.6 0.6 0.7)          はばいのでは、1.1 0.7 0.7 0.7 0.7 0.7 0.7 0.7 0.7 0.7 0.7		
	●容量等の表示 ●防火区画	設有 上屋 中 地 上上中重の〇〇〇(2 電す既復ま令り 機た 〇 機 ※用質 階及 階	ナ震、 機防水機防水機防水の きょう アナ・マッチ であり できない は と こう で で で で で で で で で で で で で で で で で で	質び設	計平の 用震施 用震施 1 2 1 1 1 0 1 1 場 は まり と の がを る表 を 標度 設般 1 2 1 1 1 1 0 1 1 場 は るす 合 しにあ薬 示 描 で の は も く (	度を乗じたもの 要 1.5 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0	の か か で で で で で で で で で で で の の の の の の の の の の の の の		

図面 No.

M - 02

ŧ	〇天井点検口	天井点検口の裏側に用途名称を付す。
<b>夫通事</b> 頁	●機器の据付	仕様書等に記載ないものに関しては、メーカー据付要領を参照として、施工計画書に もりこむこと。
`	●方式	※新設 ○ 改修 <b>●</b> 既設
		○全空気方式 (○中央 ○各階ユニット) ○全空気方式 (○中央 ○各階ユニット) ○ファンコイル・ダクト併用方式 ●個別方式 ○ファンコイル・ダクト併用方式 ●個別方式
	 ●主要空調機器	○ボイラー ○温風暖房機 ○温水発生機
		〇遠心冷凍機 〇スクリュー冷凍機 〇吸収冷凍機
空		〇冷却塔
		〇直だき吸収冷温水機 〇小型吸収冷温水機ユニット 〇コージェネレーション装置 〇氷蓄熱ユニット 〇ユニット形空気調和機 〇コンパクト形空気調和機
		●パッケージ形空気調和機 ○ガスエンジン式パッケージ形空気調和機
		○ファンコイルユニット ○空気清浄装置 ○全熱交換器 ○放熱器 
	● 設計時の温湿度条件	場所屋外屋内(調整目標値)
₹		時期
<b>&lt;</b> 6		冬期 0.3°C 67.2% 22°C 40% °C %
		夏期 35.6℃ 51.3% 26℃ 50% ℃ %
	○ダクトの種別	※低圧ダクト 〇高圧 1 ダクト 〇高圧 2 ダクト (3.1.14.3) (3.2.2.2) <3.2.2.2>
	○ダクトの工法	〇アングルフランジエ法 〇スパイラルダクト 〇フレキシブルダクト
		〇コーナーボルト工法 (長辺が 1 5 0 0 mm以下の部分) (〇共板フランジエ法  〇スライドオンフランジエ法) (3. 2. 2. 1) ~ (3. 2. 2. 7)
周		屋外に設置するダクト類にはシール等で水密を確保する。
/r.j	〇チャンバー等	製作及び取付は、標準仕様書第3編2.2.2「アングルフランジエ法ダクト」の当該事
		項による。 消音内貼 ※要(標準仕様書第2編表2.3.2及び表2.3.4による。)
		月百内貼   ※ 安(標準性稼責第2編表2. 3. 2及び表2. 3. 4による。) 
	〇吹出口及び吸込口	※亜鉛鉄板製 Oグラスウール製 (3.1.14.7)
	ボックスの材料	ボックスの吊りは3点支持を標準とし、これによらない場合は監督職員との協議による。
	○風量測定口の取付位置	図示による。(図面番号 M-10 ) (3.2.2.5) 〈3.2.2.5〉
	●配管材料	図面に明記なき配管材料は、下記による。 (2.2.1.2) (2.2.3.7)
		(1) 冷温水管・膨張管・エアー抜管・膨張タンクよりボイラー等への補給水管
		※配管用炭素鋼鋼管(白管)   ○耐熱性ライニング鋼管(SGP-HVA, SGP-H-FVA, SGP-H-FCA)
		〇ステンレス鋼管(SUS304) (継手 )
		〇架橋ポリエチレン管
殳		│ ○ ポリブデン管 (2)冷却水管
^		※配管用炭素鋼鋼管(白管)
		○ 硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VA, SGP-FVA)
		│ ○ポリエチレン粉体ライニング鋼管(SGP-PA, SGP-FPA) │ ○ステンレス鋼管(SUS304)(継手 )
		(3) 蒸気給気管
		※配管用炭素鋼鋼管(黒管)
莆		│ ○ 圧力配管用炭素鋼鋼管(STPG370黒管Sch40)   ( 4 ) 蒸気還管
Ħ		(4)
		〇一般配管用ステンレス鋼管(SUS304) (継手 )
		│
		0
		(6)油管 ※配筒用農素網網筒(黒筒)(トラフ内サ)
		│ ※配管用炭素鋼鋼管(黒管)(トラフ内共) │ ○
		(7)空調用給水管
		○ 硬質塩化ビニルライニング鋼管(SGP-VA, SGP-FVA) ○ポリエチレン粉体ライニング鋼管(SGP-PA, SGP-FPA)
		│ ○ 小リエテレフ粉体ライーフグ鋼官(SUP-PA, SUP-PPA) │ ○ 水道用硬質塩化ビニル管(HIVP)
		0
		(8)空調用排水管 ● 硬質塩化ビニル管(VP)
		●硬負塩化ビニル管(VF) ○排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管(D-VA)
		〇結露防止層付硬質塩化ビニル管(屋内)
		│ O │(9)冷媒管
		●断熱材被覆銅管
		〇銅管
	O th 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50	○ 圧力配管用炭素鋼鋼管(STPG370黒管Sch40)
	〇定風量ユニット 変風量ユニット	○メカニカルタイプ ○風速センサータイプ (3.1.15.13)(3.1.15.14) 制御については図示による。 (図面番号 )
	〇地下オイルタンク	(1)本体 ※地下オイルタンク 記号 TO- (2.2.3.6)(3.1.13.7) ○鋼製強化プラスチック製二重殻タンク 記号 TOSF-
		(2)蓋 ※WPM-AW800 ○WPM-AW700 ○WPM-A450 ○
		(3) タンク室 〇設けない(コロッケ形) 〇
		│
		(6) 内部充填砂 ※本工事 〇別途建築工事   (6) 内部充填砂 ※本工事 〇別途建築工事
		(7) タンク外面防護処理
		※施工しない
		<ul><li>○施工する (○アスファルト被覆 ○エポキシ樹脂被覆 ○ (8)基礎杭 ※不要 ○要</li></ul>
	_	1 > - / TTT PAL 1/10 // // // // // // // // // // // // //
		(9) 遠隔油量指示計 ※設ける 〇設けない

	〇バーナーの制御方式	│ 〇オン・オフ制御 ○ ハイ・ロー制御 ○ 比例制御 ○ ( ) │
	〇鋼板製煙道等	図面に明記なき鋼板製煙道の厚さ ※3.2mm 〇4.5mm (3.1.1.2 煤煙濃度計取付座及び煤塵量測定口(80 φ 以上)の箇所は図示による。 (3.2.1.3 (図面番号 )
空	〇ぱい煙濃度計	〇設けない (3.1.1.3 〇設ける(電源制御盤より取り出し配管配線は本工事に含む。) ※送風機付き 〇送風機なし
	〇給水軟化装置	(1)運転方式 ※自動式 〇手動式 (3.1.1.5 (2)イオン交換樹脂筒 ※1筒式 〇 (3)処理水用硬度測定器 ※設ける 〇設けない
気	の本体内面防錆処	
×	○冷凍機	○
調		〇吸収冷温水機 仕様等図示による。(図面番号)〇吸収冷温水機ユニット 仕様等図示による。(図面番号)基礎等は図示による。(図面番号)(3.2.1.1)(3.2.1.9
	〇冷却塔	仕様等図示による。(図面番号 ) (3.1.6.7) 基礎等は図示による。(図面番号 ) (3.2.1.1)(3.2.1.9)
	〇コージェネレーション装置	仕様、システム等は図示による。 (図面番号 ) (3.1.4.1)~(3.1.4.16   基礎等は図示による。(図面番号 ) (3.2.1.1)(3.2.1.9)   仕様等図示による。(図面番号 ) (3.1.5.1)~(3.1.5.11
和	○氷蓄熱ユニット	仕様等図示による。(図面番号 ) (3.1.5.1)~(3.1.5.11   基礎等は図示による。(図面番号 ) (3.2.1.1)(3.2.1.9)
	●空気調和機	<ul> <li>○ユニット形空気調和機 仕様等図示による。(図面番号 )</li> <li>○ゴンパクト形空気調和機 仕様等図示による。(図面番号 )</li> <li>○ブシカント空気調和機 仕様等図示による。(図面番号 )</li> <li>○カセット形ファンコイルユニット 仕様等図示による。(図面番号 )</li> <li>●パッケージ形空気調和機 仕様等図示による。(図面番号 )</li> <li>○マルチパッケージ型空気調和機 仕様等図示による。(図面番号 )</li> </ul>
设		○ マルテバッケーシ至空気調和機 仕様等図示による。 (図面番号 ) ○ ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機 仕様等図示による。 (図面番号 基礎等は図示による。 (図面番号 ) (3.1.7.1)~(3.1.7.8)(3.2.1.1)
		フィルターの形式等図示による。 (図面番号 ) (3.1.8.1)~(3.1.8.5 回転数制御装置は図示による。 (図面番号 ) (3.1.9.1)~(3.1.9.4 運転表示灯及び操作スイッチ等は図示による。 (図面番号 ) (3.1.9.1)~(3.1.9.4 ) (3.1.9.1)~(3.1.9.4 )
備	<ul><li>○放熱器及び放熱器 付属品</li></ul>	ファンコンベクターの吹出口、吸込口、エアフィルター等図示による。 (図面番号) コンベクター、パネルラジエーターの寸法、放熱能力等図示による。
	○送風機	(図面番号 ) (3.1.10.1)~(3.1.10.11 電動機の仕様等は図示による。 (図面番号 ) (3.1.11.1)~(3.1.11.4 水抜き穴 (※設けない O設ける)
	〇ポンプ類	基礎等は図示による。(図面番号 ) (3.2.1.18) (3.2.1.18 本体及び^゙-スの材質、構成、形式、フート弁の口径、電動機等図示による。 (図面番号 ) (3.1.12.1) ~ (3.1.12.6) 基礎等は図示による。(図面番号 ) (3.2.1.19) (3.2.1.19
	〇還水タンク	本体材質 OSUS304 OSUS316 OSUS444 配管接続は図示による。 (図面番号 ) (3.1.13.2
	○膨張タンク	○開放形膨張タンク (○鋼板製 ○ステンレス鋼板製(SUS304)) (3.1.13.5 ○密閉形隔膜式膨張タンク (溶接栓 ○あり ○なし) (3.1.13.6
	○ヘッダー ●ダクトの種別	還水管接続口 ○ 設ける ○ 設けない   排水管接続口 ○ 設ける ○ 設けない (3.1.13.9   ※低圧ダクト ○高圧 1 ダクト ○高圧 2 ダクト (3.1.14.1)(3.2.2.1) ⟨3.2.4.5
	●ダクトの工法	<ul> <li>○アングルフランジエ法</li> <li>●スパイラルダクト</li> <li>●フレキシブルダクト</li> <li>○コーナーボルト工法(長辺が 1 5 0 0 mm以下の部分)</li> <li>(〇共板フランジエ法</li> <li>○スライドオンフランジエ法)</li> <li>(3.1.14.3)~(3.1.14.10</li> <li>屋外に設置するダクト類にはシール等で水密を確保する。</li> </ul>
奐	〇厨房用排気ダクトの 板厚	厨房用排気ダクトの板厚は下記による。 (3.1.14.3)(3.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2
気	○送風機	電動機直動式の場合の極数等図示による。(図面番号 ) (3.1.11.1)~(3.1.11.4) 基礎等は図示による。(図面番号 ) (3.2.1.18) ⟨3.2.1.18
设	●吹出口及び吸込口 ボックスの材料	※亜鉛鉄板製 Oグラスウール製 (3.1.14.7)
	○排気フード	(1)排気フードの補強、支持金物、接合材等は、亜鉛鉄板製ダクトの当該事項によるものとし、材質は次による。 ※ステンレス鋼板(補強共) 〇亜鉛鉄板 (2)フード囲いにダンパー類の点検口を 〇設ける 〇設けない (3)フードの内側周囲にはといを設け、といには呼び径10~20の黄銅製コック、プラグ
備		又はステンレス製コックを ○設ける ○設けない (3.1.14.8

+47.	●防煙ダンパー	防煙ダンパー·防火防煙ダンパーの復帰方式 (3.1.15.8) ~ (3.1.15.10
換気	防火防煙ダンパー	※遠隔復帰式(電気式(定格入力 DC24V 0.6A以下)) 〇手動復帰式
設備	ピストンダンパー	ピストンダンパーの復帰方式 ※遠隔復帰式 〇手動復帰式
I/III	〇ドレン抜き	厨房、浴室等の多湿箇所の排気ダクトに設ける。 (図面番号 ) (3.2.2.2.1)
	〇排煙対象部分	〇廊下 〇事務所 〇図示による。 (図面番号 )
		○最大面積
  排	○ダクトの種別	〇高圧 1 ダクト 〇高圧 2 ダクト (3.1.14.5)(3.2.2.1)(3.2.2.4)(3.2.2.5
	〇ダクトの工法	※アングルフランジエ法 O (3.2.2.1)(3.2.2.2)(3.2.2.4)(3.2.2.!
煙	〇ダクトの材料	※ 亜鉛鉄板製 〇 普通鋼板製 (3. 1. 14. 1) (3. 2. 2. 4) (3. 2. 2. 2. 5)
設	〇排煙口及びダンパー	(1)形状は図示による。(図面番号 )
備		(2)排煙口の作動 〇手動(〇機械式 〇電気式) 〇煙感知器連動 (3.1.15.0
		(3) ダンパー本体及び操作箱との渡り配線は本工事とし、それ以降の制御配管、配線   は(〇 エ事)とする。
	〇排煙機	形式 ※ 遠心送風機 〇斜流送風機 〇軸流送風機 (3.1.11.4   基礎等は図示による。(図面番号 ) (3.2.1.18
	 ●自動制御設備一般	
自	〇自動制御機器	デジタル式調節部の中央監視制御装置との通信機能は図示による。 
		操作部電動弁の開閉状態を遠方表示するための電気接点は図示による。
動		(図面番号 ) (4.1.2.3
生山	〇中央監視制御装置	システム構成、仕様及び機能は図示による。(図面番号 )(4. 1. 4.
制	一般	
御	〇中央監視盤	システム構成、仕様及び外観形状は図示による。
		(図面番号 ) (4.1.4.2
設	〇周辺装置	印字装置の方式は図示による。 (図面番号 ) (4.1.4.3
備		集合表示装置は図示による。      (図面番号      )
l h#i	〇端末装置	種類及び機能は図示による。 (図面番号 ) (4.1.4.4
	〇電気計装用機材	電線及びケーブルの規格、通信信号線の規格及び使用区分、線径及び本数は図示による。
		電線管及び付属品等の規格は図示による。 (図面番号 ) (4.1.5.1)
	●小便器用節水装置	●小便器一体型 ○小便器分離型 (5.1.1.2)
	●温水洗浄式便座	加熱方式 ● 貯湯式 ○ 瞬間式) (5.1.1.2)
		リモコン (● あり 〇 なし)
	 ○大便器ユニット	│ │大便器の種類及び給水装置の組合せ、ケーシングの化粧前板・甲板の仕様、配管は図示に
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	よる。 (図面番号 ) (5.1.1.3
衛	〇小便器ユニット	小便器の種類及び節水装置の組合せ、配管、ケーシングの化粧前板・甲板の仕様は図示に
		よる。 (図面番号 ) (5.1.1.3
牛	〇洗面器ユニット	洗面器の種類及び給湯管の要否、配管、ケーシングの化粧前板・甲板の仕様は図示による。
王		(図面番号 ) (5.1.1.1
	〇壁掛型汚物流し	汚物流しの種類、ホース付ストーマ装具洗浄用水栓、給湯方式、配管材料は図示による
器	ユニット	(図面番号 ) (5.1.1.
	〇その他のユニット	掃除流しユニット、手洗器ユニット、車椅子対応ユニット等の仕様は図示による。
		(図面番号 ) (5.1.1.3
具	〇浴室ユニット	プラスチック浴槽ふた、照明の種類、給水・給湯管の要否、管材、壁・床
		・天井、付属品の仕様は図示による。 (図面番号 ) (5.1.1.4. - フロス (図面番号 ) (5.1.1.4.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2
設	〇複合浴室ユニット	照明の種類、給水・給湯管の要否、管材、壁・床・天井、付属品の仕様は図示による。   (図表来見
	 〇大便器用洗浄弁	
	〇八区部/11/2017 月	〇 電気開閉式 (〇 センサー式 〇 タッチスイッチ式)
備	〇化粧棚	- 陶器製又は金属製の縁付きとし、大きさは図示による。 - (5.1.1.10
		(図面番号)
	〇水石鹸入れ	〇手洗器一体型  〇手洗器分離型  〇自動供給式  〇    (5.1.1.1
	●自動水栓	電源供給方式 (● AC電源式 ○乾電池式 ○発電式) (5.1.1.
		手動スイッチ (〇あり 〇なし)
	〇大便器耐火カバー	※設ける(ピット内は除く) 〇設けない
	●多目的トイレの	紙巻器、便器洗浄ボタン、呼出ボタンの配置はJIS S OO26による。
	器具配置	
	〇鏡	大きさ等は図示による。 (図面番号 ) (5.1.1.9)
	●給水方式	○水道直結方式 ○高置タンク方式  ○増圧ポンプ方式(水道用直結加圧形ポンプユニット)
	<b>▲</b> +p 3 ∧ //~	●ポンプ直送方式(小型給水ポンプュニット)
	●加入金等	※不要 O要(O本工事 O別途工事) 名称:

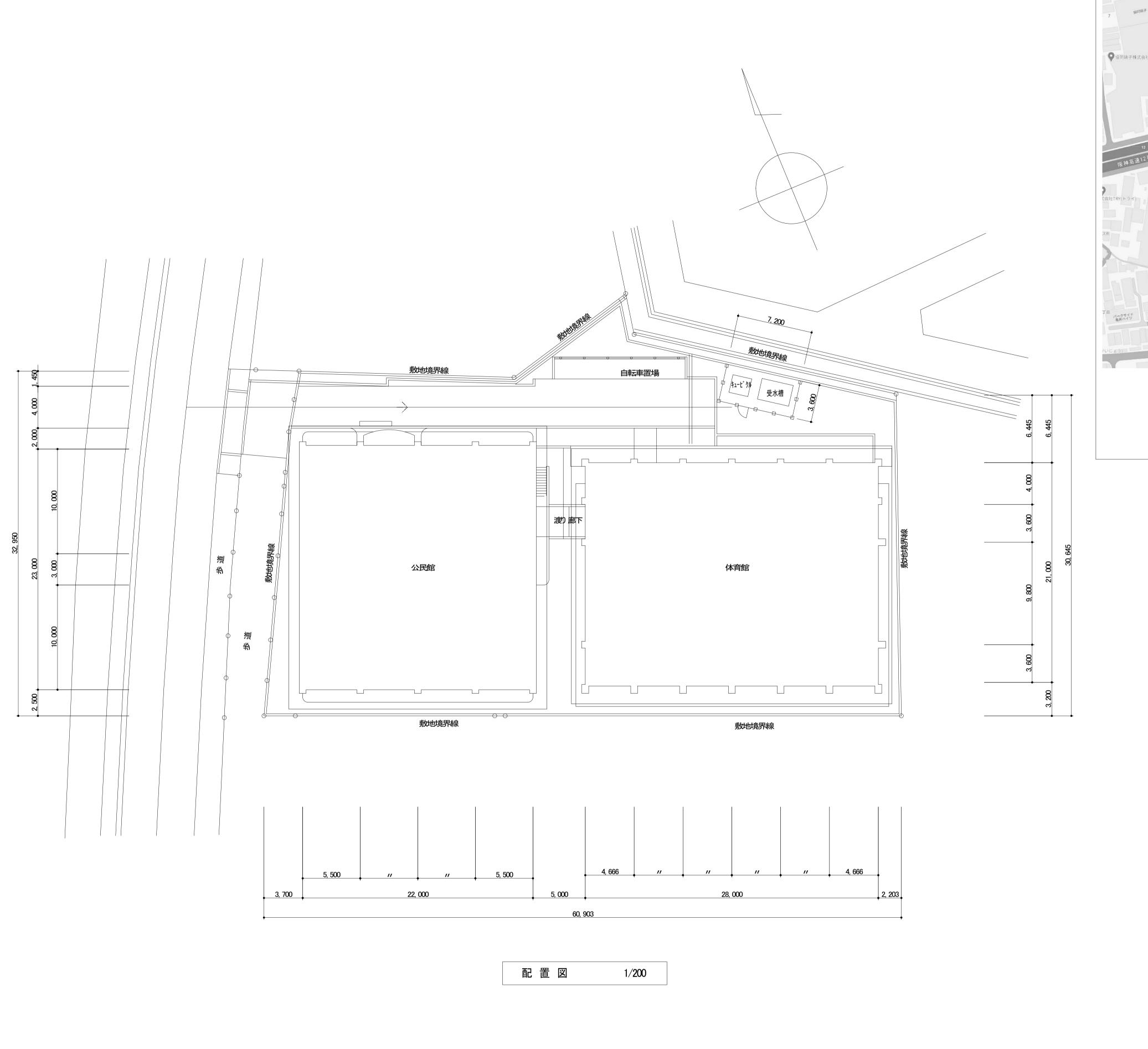
	●配管材料	図面に明記なき配管材料は、下記による。 (2.2.1.2)	〇消火用充	た水タンク	本体の材質等図示による。(図画	面番号 ) (5.1.2.8)
		(1) 一般配管	〇連結送水	水管	送水口の型式及び放水口の口径、材質は図示による。(図詞	
		○ 硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VA, SGP-FVA) ○ ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (SGP-PA, SGP-FPA)	〇屋外消火		屋外消火栓箱 ※鋼板製(1.6mm以上) 〇ステンレス鋼板製	
					消火栓開閉弁の材質 〇地上式 (〇鋳鉄製(要部青銅製	
		●水道用硬質塩化ビニル管(HIVP) 〇架橋ポリエチレン管	<b>O</b> スプリン	ンクラー	□ ○組込式 (青銅製又はステンレス 閉鎖型スプリンクラーヘッド (〇湿式 〇乾式 〇予1	
		〇ポリブデン管			スプリンクラー用送水口の型式及び材質は図示による。	
		(2) 地中配管 ○硬質塩化ビニルライニング鋼管(内外面ライニング)(SGP-VD, SGP-FVD) (○屋内 ○屋外)	〇泡消火		消火薬剤 (※水性膜泡消火薬剤 〇合成界面活性剤泡消	
44		〇ポリエチレン粉体ライニング鋼管(内外面ライニング)(SGP-PD, SGP-FPD) (〇屋内 〇屋外)	O /= //- # ·			五番号 ) 三番号 ) /5.1.5.10)
給		○水道用硬質塩化ビニル管(HIVP) (●屋内 ○屋外) (●屋内 ○屋外) ○水道配水用ポリエチレン管(※屋外) ○	〇連結散才			面番号 )(5.1.5.10) 面番号 )
7k	● ポンプ類	○揚水用ポンプ (5. 1. 2. 1) (5. 1. 2. 2)	〇安全装置			(5. 1. 6. 1)
л 		共通ベースの材質、フート弁の呼び径等図示による。	〇桜器の固		安全装置の機能は図示による。 燃焼機器、加熱調理機器、高さが1.0mを超える機器及び図	
設		(図面番号 ) (5. 1. 2. 3) □ ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )			アンカーボルトで固定できるよう補強及び固定金具を備える。	(5.1.6.1)
		運転方式、制御方式、24時間強制ローテーション機能、フート弁の呼び径等図示による。				面番号 ) 〈5. 2. 2. 6〉
備		○ 次 # 〒 田 北 山 エ _ ね _ 半 い プ	房の流し	(== T= />		面番号 ) (5.1.6.4)
		揚水管の材質、低水位用電極(停止及び復帰用)及び制御ケーブルの長さ等図示による。	機 〇作業台 脇台、盛		すのこ、引出し、戸棚等の有無等図示による。 (図面	面番号 ) (5.1.6.4)
-	<b>●</b> <i>ねいり</i>		器のかえテープ・		│ │甲板の厚さ、材質及びすのこの有無等図示による。 (図i	面番号 ) (5.1.6.5)
	●タンク	(1) 形式 (2.2.4.7)(5.1.4.2) OFRP製パネルタンク(※複合板形 〇単板形)	設 ○電気をつ			面番号 ) (5.1.6.5)
		●ステンレス鋼板製パネルタンク (外部保温 ●あり 〇なし)	備 場物器・炊食		加熱方式は、図示による(図詞	面番号 ) (5.1.6.5)
		│ ○鋼板製一体形タンク │(2)仕様	· 煮炊釜·1			<b></b>
		タンク本体給水栓用配管接続口 〇設ける 〇設けない	● ガスの種	重類	●都市ガス 発熱量 MJ/N m3 ガス   施工要領は、ガス事業者が定めるものに準じる。	事業者名:
		各接続管フレキシブルジョイント 〇ベローズ形 〇合成ゴム製			○液化石油ガス (※50kg ○20kg)	
	●排水方式	X相部の水位レベルは固水による。 (図面番号	●配管材料	—————————————————————————————————————	図面に明記なき配管材料は、下記による。	(6. 2. 1. 1) ~ (6. 3. 1. 1)
		汚水·雑排水と雨水 屋外 ●分流式 〇合流式	ガ		(1)一般配管   ※配管用炭素鋼鋼管(白管)	
	●协运生	ポンプ排水 〇あり(〇汚水 〇雑排水 〇雨水 〇湧水 〇浄化槽二次側)※なし   (1) 汚水 ● 唐牧流下水筒 〇 浄化槽			〇圧力配管用炭素鋼鋼管 〇銅管	
排	●放流先	(1)汚水 ●直放流下水管 〇浄化槽   (2)雑排水 ●直放流下水管 〇浄化槽 〇別途桝( 工事)	7		(2)地中配管 ※ガス用ポリエチレン管(○屋内 ○屋外)	
	〇負担金	※不要 〇要(〇本工事 〇別途工事) 名称:			〇合成樹脂被覆鋼管 (〇屋内 〇屋外)	
	●配管材料	図面に明記なき配管材料は、下記による。 (2.2.1.2)	○ガス漏∤	れ警報器	※別途工事( ) 〇本工事(外部出力端子	- ※なし
		(1)汚水·雑排水管 ●水道用硬質塩化ビニル管(VP) (●屋内 ●屋外)	ひガスメー		計量方式(〇実測式 〇パルス式)	
水		〇建物排水用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル(RF-VP) (〇屋内 〇屋外)	〇防食処置			面番号 ) (6.2.2.5)
		<ul><li>○排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管(D-VA)</li><li>●耐火二層管(国土交通大臣認定品)</li><li>(●屋内 ○屋外)</li></ul>	○液化石油		溶接部の非破壊検査 ※実施しない	(6. 3. 2. 2) <6. 2. 3. 2>
		0	備		〇実施する (〇放射線透過検査 〇浸透探傷検査又は粉	分体探傷検査)抜取率 %
		(2) 通気管 ● 水道用硬質塩化ビニル管(VP)			※PE管工法 OSGM工法 〇ネジエ法	
<del>-</del> π-		〇建物排水用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管(RF-VP)	〇ピット内が		※合成樹脂被覆鋼管による O	
設		○排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管(D-VA) ○配管用炭素鋼鋼管(白管)	〇負担金		※不要 〇要(〇本工事 〇別途工事) 名称:	
			○形式	211	※ユニット形 〇現場施工形	(8.1.1.1)
			净		○ 小規模合併処理 ○ 合併処理 ※ 別途工事 ○ 本工事	(8. 1. 1. 1)
	○活水 雑排水及バ	(3)流し等の床上露出部分の配管は、硬質塩化ビニル管(RF-VP)でもよい。 ケーシング、羽根車の材質、電動機の型式、着脱装置等は図示による。 (5.1.2.7)	化 〇現場施コ		送風機室(〇本工事 〇別途工事 ) /	(8. 1. 1. 2) ~ (8. 2. 2. 2)
	汚物用水中モーター	(図面番号)	16   20000000		防護さく (〇本工事 〇別途工事 )	
		汚物用水中モーターポンプの極数は図示による。(図面番号 )	槽		コンクリート躯体工事(土工事を含む) (◆本工事 ○)  換気用送風機 ○遠心送風機 ○軸流及び斜流送風機	別途工事 )
		ストレーナ、水中ケーブルの長さは図示による。 (図面番号 ) (5.1.7.0)			〇壁掛式有圧換気扇(フード付) 〇天	井式有圧換気扇
⊢		※ ステンレス鋼板製(SUS304)   ○強化プラスチック製(FRP)	設		制御盤 〇漏電、過負荷、満水警報等の一括故障表示用無管消泡装置 (〇ノズル式 〇消泡剤式)	電圧接点及び端子を設ける。
	〇満水試験継手 ●給湯方式	※要(取付箇所は図示による。(図面番号 )) 〇不要 (2.2.4.8) 〇中央式 ●局所式	備		消毒装置 (〇固形塩素剤消毒装置 〇次亜塩素酸ソータ	
<b>+</b>		図面に明記なき配管材料は、下記による。 (2.2.1.2)	VHI		マンホール ※標準図(機材1)によるマンホールふた(水封式)	) (錠又は回転ロック付)
給		●ステンレス鋼管(SUS304) (継手 )			管材及び弁類は図示による。	)
中口		○ 回管 (壁又は床埋設をする場合は、保温付被覆銅管を使用してもよい。) ○ 耐熱性ライニング鋼管(SGP-HVA, SGP-H-FVA, SGP-H-FCA)	0ユニット	ト型	基礎等の厚さ等図示による。 (図面番号	) (8.3.2.1)
		〇ポリブデン管	撤 ●撤去工事	<b></b>	(1)引き渡しを要する配管、ダクト等の保温材は分離す	
湯		〇架橋ポリエチレン管   ※照開ポースの関連ポースの関連を	ム 工 東		(2) ダクト及び配管等の支持金物、吊りボルト等は本工   (3) 撤去後の補修は、原則として現状復旧とする。	事にて撤去する。 <1.4.2.4>
- 1		※瞬間式	事 共 〇 石綿作	左	適用する	[9.1.2]
		給湯熱効率 (※90%以上 O %以上) (図面番号 ) (5.1.3.7)節電機能等は図示による。(図面番号 ) (5.1.3.8)	<b>2</b> 番	字		[9.1.2]
H		カンカ家豊笠は図テによる (図面番号 ) (5.1.2.0)	項物管理	里責任者		
<b>/</b> ##  -		排気筒を外気に開放する場合の頂部形状は図示による。(図面番号 ) (5.1.3.10)	境 特 〇施工	計画調査	特別管理産業廃棄物等の調査は次による(適用範囲:	)
H	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		配 智		│ 使用状況調査 (製造所名、製造年、型式、種類、数量: │ 処分条件調査 (収集運搬業者、処分業者、回収業者、産業	- '
		〇层内消水栓 〇連結洋水管 〇层州消水栓 〇2プリンクニー 〇海消水	理		調査結果報告書の提出	[5. 1. 2]
用		○粉末消火 ○不活性ガス消火 ○連結散水 ○フード等田簡易自動消火	慮 産 ○分析 :		微量PCBの測定を行う (対象機器:	) [5. 4. 1]
火			改 業 〇特別 発棄	管理産業 物の	〇特別管理産業廃棄物	[5. 4. 1]
	〇配管材料	図面に明記なき配管材料は、下記による。 (2.2.1.2) (1) 一般配管	(大) (東) 処理等			里 方 法
設		〇配管用炭素鋼鋼管(白管)	" 物 無		○ PCBを含む機器類 保管(保管場所:	)
- 世		○圧力配管用炭素鋼鋼管(STPG370白管) (○Sch40 ○Sch80) ○ステンレス鋼管 (○一般配管用 ○配管用) (継手 )	エのの		保管容器は別図による。	(図面番号 )
備			事		OPCB含有シーリング 保管(保管場所:	)
			<b></b>			〇焼却処分
		├── ※ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(SGP-VS) (〇屋内 ○屋外)	理		○廃油     ○中間処理施設再生処理       ○原料 (原子 サイリー)     制造業者及は恵間業者 (原子 サイリー)	
	❷消火ポンプュニット	※消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(SGP-VS) (〇屋内 〇屋外) 〇消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(STPG370VS 白管Sch40) (〇屋内 〇屋外) フート弁の呼び径等図示による。 (図面番号 ) (5.1.2.8)	世 等 		〇廃油     〇中間処理施設再生処理       〇廃酸/廃アルカリ     製造業者又は専門業者(原)       〇中間処理施設再生処理	回収委託)

	特	● 特別管理産業 家畜物の	●特殊な建設副産物の回収及び処		7. 3. 1]
	別管	廃棄物の	<u> </u>	処 理 等	
	管理産業廃棄物等	処理等	●フロン類	登録回収業者 (回収委託)	
	産		Oハロン	設備設置業者等(処理委託)	
	<b>亲</b> 盛		〇イオン化式感知器	製造業者等 (処理委託)	
	棄		〇六フッ化硫黄(SF6)ガス	製造業者(処理委託)	
	物		〇特定化学物質	処理業者 (処理委託)	
	寺 の				
-m	処理等	●特別管理産業	別図による。 (図面番号	)	
環	寸	廃棄物リスト			
		〇石綿含有	調査(石綿含有建材の有無)は監		
		建材の調査	目視及び設計図書等による製造年	F等の確認 【1.	5. 1]
境		~ I I I I I I I I		L. C. Company	
<b>-</b> 5%		〇石綿含有	分析方法		
		建材の分析調査		スベスト含有測定方法」による。	
	石			f方法」(平成18年8月21日基発第0821002号、基安 <sup>,</sup>	化
配	綿			2月6日基安化発第0206003号)による。	F 13
		0 T / 0 0 +	分析結果報告書を提出する		5.1]
		〇石綿含有	除去工法		1.4]
	理	保温材等の除去 及び処分			
慮		及い地方	│除去した石綿含有保温材等の飛龍 │ ※湿潤化 ○固形化	가 내 旭 恒	
			※ 湿润化	)	
			│除官場別( │除去した石綿含有保温材等の処分	, <del>,</del>	
¬L			○埋立処分(管理型最終処分場	_	
改		● 石綿含有	除去する石綿含有成形板の飛散の		1 51
		●石柵呂有 成形板等の除去			1. 51
		及び処分			
修		2027	※手ばらし		
<b>"</b>				こおいては、作業場の隔離養生を行う。	
			保管場所(	)	
			除去した石綿含有成形板等の処分	<del>)</del>	
エ			※石綿含有せっこうボードは管	<b>管理型最終処分場で埋立処分する</b> 。	
			※上記以外( 〇埋立処分	〇中間処理 )	
		────	┃ ┃ ┃ ┃ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		—————————————————————————————————————
事		〇 子 帆 こ 寺		『類の届出を行うこと。また、その内容を周辺住民○ 『ない こう	
			見やすい場所に掲示すること。		
		○ № ± ※ の			1.1]
		〇除去後の 仕上げ	仕上げ表による 	<b>L</b> 9.	1. 14
				<u> </u>	
		〇石綿含有材	0 (	) 0 (	
		リスト	0 (	) O(	
	壹几 /	備機材)・ボイラ−	(細制館貝ボノニ_及が箆目書:	流ボイラー、鋳鉄製ボイラー及び鋳鉄製簡易ボイラ	_
(	7 元				_,
			型ボイラー及び小型貫流ボイラー。 生機(真空式温水発生機(細制・鋳き	、鋼裂ボイフー) 鉄製)、無圧式温水発生機(鋼製・鋳鉄製))	
				跃裂ク、無圧式温水発生機〔輌裂˙鋳跃裂クク ゚ュニット、吸収冷温水機、吸収冷温水機ュニット、遠心冷シ	申称/
			(アリング ユーグト及び至れ然源に「トルーク) (冷却塔)	1-71、吸収冲温小饭、吸収冲温小饭1-71、迷心冲。	宋 1成 /
		111	(1)	ユニット及びカセット形ファンコイルユニット、コンパクト形空気調和機、	
				エ=ツト及びカヒットルシントンコイルユーット、コンバットルシーニメヒឆルヤロイは、 「調和機、ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機)	
		• • •			
		・ 呈 気 / 月 / パ ネル形)		)、自動巻取形エアフィルター、電気集じん器(自動巻取形、	·
				ハ	
			奥器(全熱交換器(回転形、静止形 短、法心光見機(名器形光見機)		
				斜流送風機、軸流送風機、消音ボックス付送風機)	
		• • • •		´ラー給水用、揚水用)、水中モーターポンプ(汚水 ノニ ※カルロ 増ポ 甲)	. н 、
			用、汚物用)、立形遠心ポンプ(ボ・		
			付属品(吹出口・吹出口、風量ユニ	- ツト(疋風重、変風重))	
			御(自動制御システム)		
			具ユニット(衛生器具ユニット)		
				式膨張タンク(空調用・給湯用)、ステンレス鋼板製	
		• • •		鋼板製パネルタンク(ボルト組立形))	
				ス消火システム、泡消火システム、ハロゲン化物消火システム)	
			器(厨房システム)		
		• 鋳鉄製 /	ふた(マンホールふた・弁桝ふた)		

<b>[</b> 9. 1. 2 <b>]</b>	設備機材等指定表			
	機材	製造者名	製造者名	製造者名
)				
,				
[5. 1. 2]				

図面 No.

M - 04





| KENSOKEN CO., LTD. | Synthetic Architec & Associates | Associates

### 換気機器リスト(撤去)

÷7 P	A th	LL +¥	電源	60HZ	<b>人 米</b> b	=10 字 +8 元C	/# <del>**</del>
記号	名称	仕様	φ -V	KW	台数	設置場所	備考
F-3	天井埋込換気扇	型式 低騒音形	1-100	0. 125	2	1・2階湯沸室	
		風量 510m3/h×50Pa					
		付属品 FD・ペントキャップ共					
-4	天井埋込換気扇	型式 低騒音形	1-100	0. 076	2	1階事務室	
		風量 380m3/h×50Pa				2階会議室	
		付属品 FD・ペントキャップ共					
<del>-</del> -5	天井埋込換気扇	型式 低騒音形	1-100	0. 026	4	1階男・女便所	
		風量 120m3/h×50Pa				2階男・女便所	
		付属品 FD・ベントキャップ共					
F-6	天井埋込換気扇	型式 低騒音形	1-100	0. 034	4	1階老人憩室	
		風量 160m3/h×50Pa				2階和室	
		付属品 FD・ベントキャップ共					
F-7	天井埋込換気扇	型式 低騒音形	1-100	0. 025	3	1・2階身障者便所	
		風量 60m3/h×50Pa				1階印刷室	
		付属品 FD・ベントキャップ共					
F-8	中間ダクトファン	型式 低騒音形	1-100	0. 175	5	1階図書室	
		風量 570m3/h×50Pa				2階講義室	
		付属品 吸込口、FD・ベントキャップ共					
F-9	標準換気扇	型式 低騒音形	1-100		3	2階調理実習室	FY-30AF5
		風量					
		付属品 ウェサ゛ーカハ゛ー共					

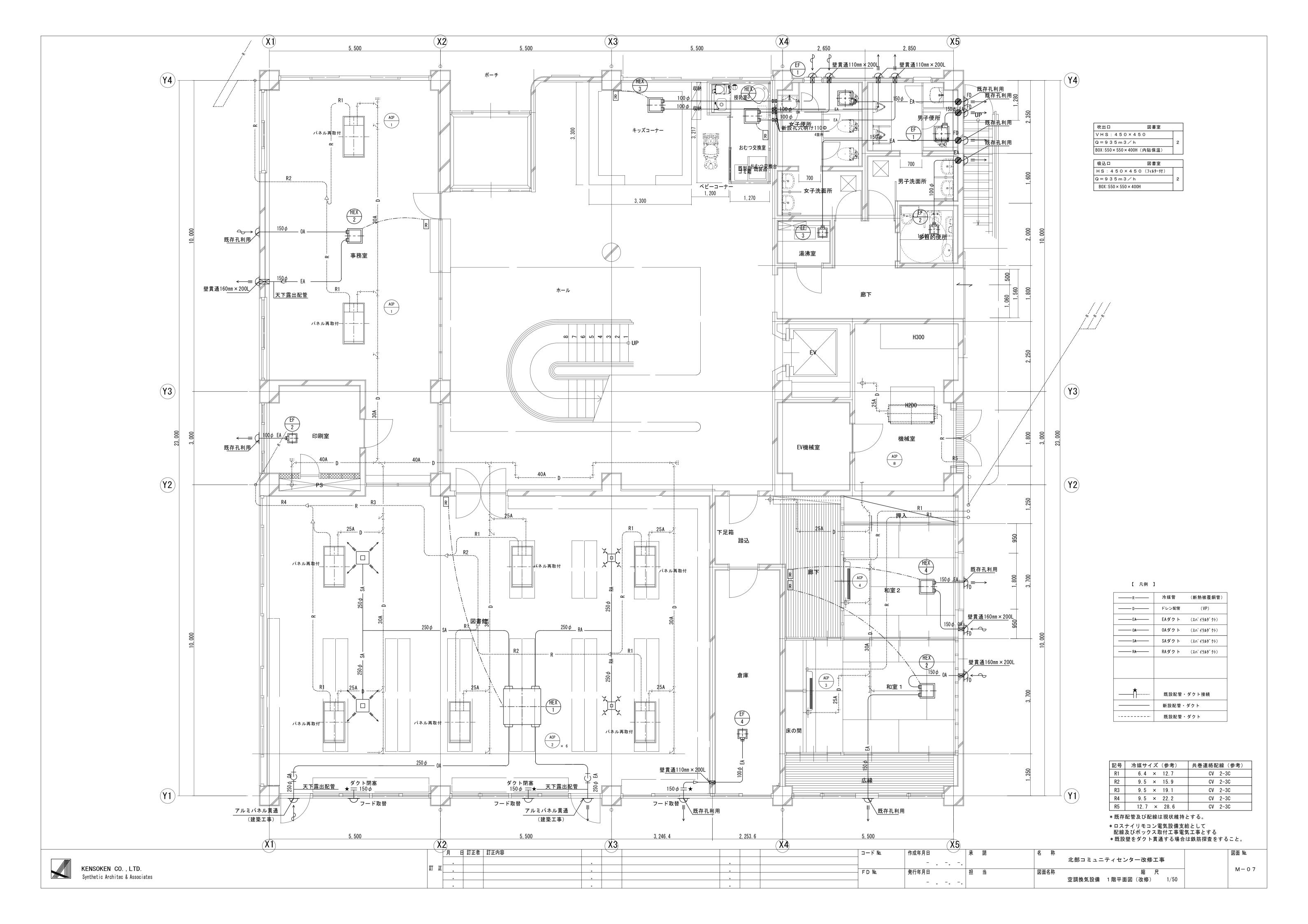
# 機器リスト (既設) \*パネル脱着

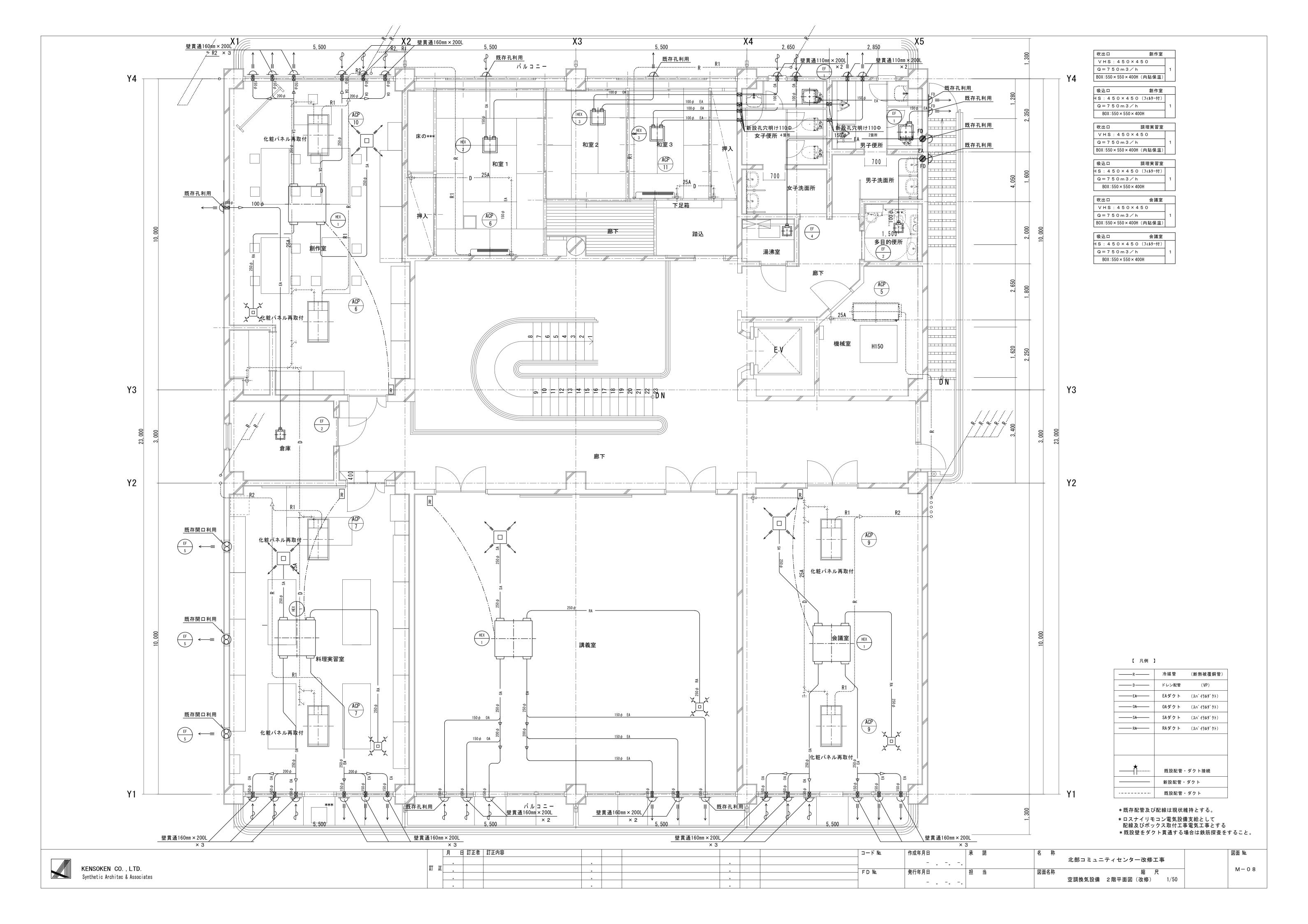
記号	名 称	仕様	電源		台数	設置場所	備考(参考品番
			φ-V	KW			
CP-1	空冷ヒートポンプエアコン	型式 天力セ2方向形			1	1階 事務室	CU-P112X4
		冷房能力 10.0KW	(COMP)	2. 6		屋上(室外機)	
		暖房能力 11.2KW	(FAN内)				
		付属品 ワイヤードリモ	·コン (FAN外)	0.09			
CP-2	ビル用マルチ室外機	型式 低騒音形	3-200		1	屋上	
		冷房能力 28.0KW	(COMP)				
		暖房能力 33.5KW	(FAN内)				
		付属品防振架台	(FAN分)				
CP-2- 1	ビル用マルチ室内機	型式 天力セ2方向形	3–200		6	1階 図書室	CS-P45L3U
		冷房能力 4.5KW	(COMP)				
		暖房能力 5.0KW	(FAN内)				
		付属品 ワイヤードリモ	·コン (FAN外)				
CP-3	空冷ヒートポンプエアコン	型式壁掛形	3–200		1	1階和室1	CU-P80X4
		冷房能力 7.1KW	(COMP)	1.50		屋上(室外機)	
		暖房能力 8.0KW	(FAN内)				
		付属品 ワイヤードリモ		0.06			
CP-4	空冷ヒートポンプエアコン	型式壁掛形	3-200		1	1階和室2	
		冷房能力 5.0KW	(COMP)	1.10		屋上(室外機)	
		暖房能力 5.6KW	(FAN内)				
		付属品 ワイヤードリモ	コン (FAN外)	0.06			
CP-5	空冷ヒートポンプエアコン	型式 ダクト接続床置	形 3-200		1	2階 機械室	CS-P400ASD46
0	<b>土/</b> 月に 1 本 / / エ/コ/	冷房能力 40.0KW	(COMP)			屋上(室外機)	00 1 100/100 10
			(FAN内)			座工 (主外版)	
		暖房能力 45.0KW	(FAN外)				
ACP-6	空冷ヒートポンプエアコン	型式壁掛形	3–200		1	2階 和室 1	CU-P56X4
101 0	土/けて 「ホーングーエバコグ	注	(COMP)	1. 10	'	屋上(室外機)	00 1 00/4
				1.10		产工(至クト版) 	
		暖房能力 6.3KW	(FAN内)				
		付属品 ワイヤードリモ	·コン (FAN外)	0.06			
ACP-7	空冷ヒートポンプエアコン	型式 天力セ2方向形	: 同 時 ツイン 3-200		1	2階 料理実習室	CU-P112X4
		冷房能力 10.0KW	(COMP)	2. 60		屋上(室外機)	
		暖房能力 11.2KW	(FAN内)				
		付属品 ワイヤードリモ	·コン (FAN外)	0.09×2			
ACP-8	空冷ヒートポンプエアコン	型式 ダクト接続床置	形 3-200		1	1階 機械室	CS-P400ASD46
		冷房能力 40.0KW	(COMP)			屋上(室外機)	
		暖房能力 45.0KW	(FAN内)				
			(FAN外)				
CP-9	空冷ヒートポンプエアコン	型式 天力セ2方向形	:同時ッイン 3-200		1	2階 会議室	CU-P112X4
		冷房能力 10.0KW	(COMP)	2. 60		屋上(室外機)	
		暖房能力 11.2KW	(FAN内)				
		付属品 ワイヤードリモ		0.09×2			
CP-10	空冷ヒートポンプエアコン	型式 天力セ2方向形	: 同時 ツイン 3-200		1		CU-P112X4
		冷房能力 10.0KW		2. 60		2階 創作室	
		暖房能力 11.2KW	(FAN内)	"		屋上(室外機)	
		付属品 ワイヤードリモ		0.09×2		生工(土/广阪/	
ACP-11	空冷ヒートポンプエアコン	型式壁掛形	3-200		1	2階 和室 2	CU-P56X4
	1 / pc   m // 1/4/		(COMP)	1 10	'		00 100/4
				1.10		屋上(室外機)	
		暖房能力 6.3KW	(FAN内)				
	i i	付属品 ワイヤードリモ	:コン (FAN外)	10.06		T.	

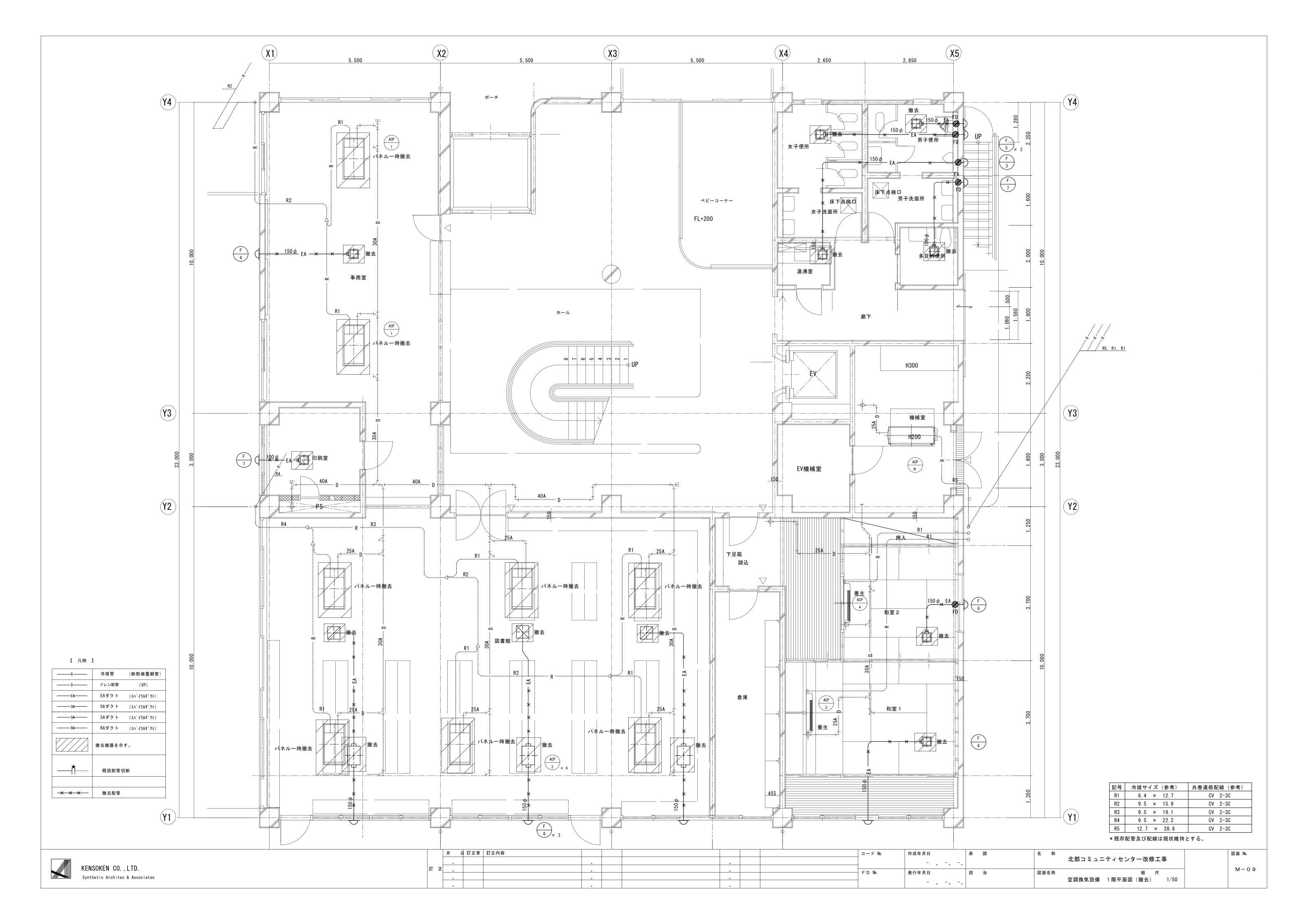
## 換気機器リスト(改修)

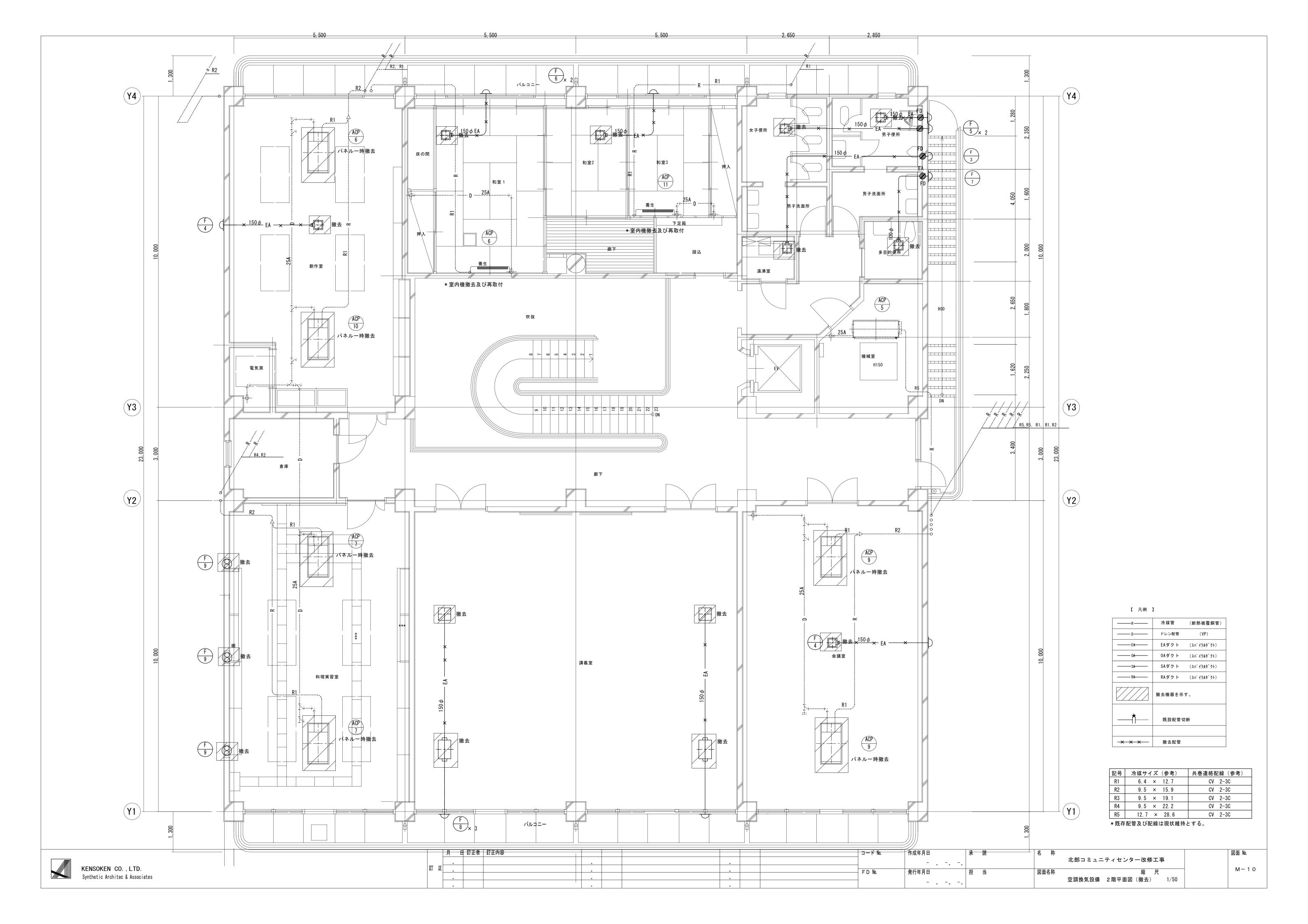
記号	名称		仕様	電源	60HZ	台数	設置場所	備考
n. 7	71 10		L 14	φ -V	KW	<u>иж</u>	改造物///	ин -сэ
EF-1	天井埋込換気扇		掻音形	1-100	0. 049	4	1・2階男子便所	VD-20ZB13
		風量	$300m3/h \times 80Pa$				1・2階女子便所	(三菱)
		付属品	FD付深形フード・他付属品共					
EF-2	天井埋込換気扇	型式 低	<b>通音形</b>	1-100	0. 0155	4	1・2階多目的便所	VD13Z13
		風量	100m3/h × 40Pa				1階 印刷室	(三菱)
		付属品	FD付深形フード・他付属品共				2階倉庫	
EF-3	天井埋込換気扇	型式 低腳	<b>掻音形</b>	1-100	0. 035	2	1・2階給湯室	VD18ZY13
		風量	$200m3/h \times 80Pa$					(三菱)
		付属品	FD付深形フード・他付属品共					
EF-4	天井埋込換気扇	型式 低腳	通音形	1-100	0. 0295	1	1階倉庫	VD18ZB13
		風量	$200m3/h \times 50Pa$					(三菱)
		付属品	FD・ベントキャップ共					
EF-5	標準換気扇	型式 低腳	<b>通音形</b>	1-100	0. 040	3	2階調理実習室	EX-30EF9
		風量	900m3/h					(三菱)
		付属品	ウェサ゛ーカハ゛ー共					
HEX-1	全熱交換機	型式	天井埋込形 低騒音形	1-100	0. 540	5	1階図書室	LGH-N80RXV2
		風量	750m3/h × 200Pa					(三菱)
		付属品	リモコン・吸込口・吹出口				2階講義室	
			リモコンは電気工事に支給取付は電気工事				2階創作室	
			他標準付属品一式 共				2階会議室	
							2階調理実習室	
HEX-2	全熱交換機	型式	天井カセット形 低騒音形	1-100	0. 185	3	2階和室1	LGH-N35CX2
		風量	250m3/h × 150Pa				1階事務室・和室1	(三菱)
		付属品	リモコン					
			リモコンは電気工事に支給取付は電気工事					
			他標準付属品一式 共					
HEX-3	全熱交換機	型式	天井カセット形 低騒音形	1-100	0. 080	4	2階和室2・3	LGH-N15CX2
		風量	150m3/h × 100Pa				1階キッズコーナー・授乳室	(三菱)
		付属品	リモコン					
			リモコンは電気工事に支給取付は電気工事					
			他標準付属品一式 共					
HEX-4	全熱交換機	型式	天井カセット形 低騒音形	1-100	0. 128	1	1階和室 2	LGH-N25CX2
		風量	150m3/h×100Pa					(三菱)
		付属品	リモコン					
			リモコンは電気工事に支給取付は電気工事					
			他標準付属品一式 共					

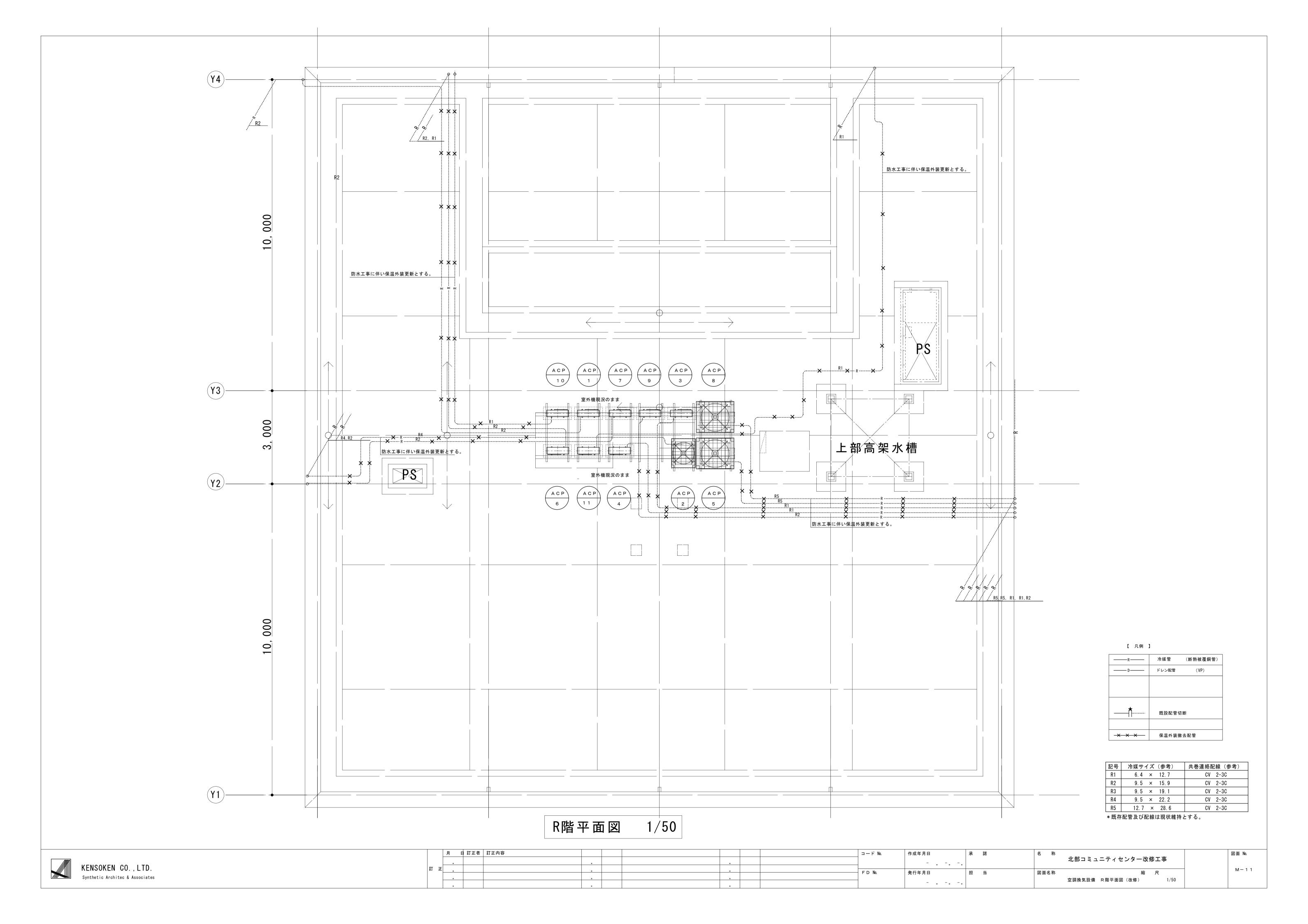
	∃ 日	訂正者   訂正内容			コード No.	作成年月日	承	諾	名 称		1
	0			0					北部コミュ	1 ニティセンター改修工事	ł
訂正	0		0	0	ED No	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	扣	गर			ł
	0		0	o	1 D No.	元11千万日	15	=		機器リスト (撤去・改修) NON	ł
	•		•	•					上 驹 狭 刈 政 佣 一 り	なおりへ下 (放立・改修) NON	1











			電気	容量			
記号	機器名称	機器仕様	電源	消費電力	台数	設置場所	備考(参考型番
WGH-1	ガス給湯器	型式 : 室内壁掛式	1 φ -100V	63W	2	調理実習室	RUXC-V1615SWF
		給湯能力 : 16号 ガス消費量34.9KW(30000kcal/h)					(リンナイ)
		備考 : 強制排気方式・FE、安全装置					
		固定金具、その他標準付属品一式共					
WHT-1	電気温水器	型式 : 室内壁掛式	1 φ -100V	1. 5kw	2	給湯室	EWR20BNN115C0
		給湯能力 : 20L					(イトミック)
		備考 : 熱湯栓付混合水栓					
		固定金具、その他標準付属品一式共					
RT-1	SUS製ポンプ室付受水槽	SUS製受水槽 2 槽式 パネル式複合板 容量8.0m3 (有効容量6.0m3)			1	屋外	ヒシタンク
		(2 (1+1) m×2m×2mH) (2m×2m×2mH) ポンプ室					TSF形

3 φ −200V 3.7KW×2台 1 屋外

KFE65P3.7 (川本製作所)

ステンレス製推定末端圧一定給水ユニット : 吐出量0.85m3/min×吸込65A×吐出80A×3.7KW×2台×20m 備 考 : 自動交互並列運転 付属品 : その他標準付附属品一式共

			電気	帝量			
記号	機器名称	機器仕様	電源	消費電力	台数	設置場所	備考(参考型番)
RT 受力	水槽	有効容量:6.0m3 FRP製複合板パネル式			1	外 部	
H T 高郊	架水槽	有効容量:1.0m3 FRP製複合板一体型(角型)			1	屋上	架台撤去は建築工事
P 1 揚7	水ポンプ	40 Φ × 100 × 23m× 1. 5kw×3 Φ × 200V (ターピン) 自動交互運転	3 Ф	1.5kw	2	機械室	
WGH-1 ガス	ス給湯器	型式 : 室内壁掛式	1 φ -100V	63W	4	—————————————————————————————————————	RUXC-V1615SWF
		給湯能力 : 16号 ガス消費量34.9KW(30000kcal/h)				調理実習室	(リンナイ)
		備考: 強制排気方式・FE、安全装置					
		固定金具、その他標準付属品一式共					

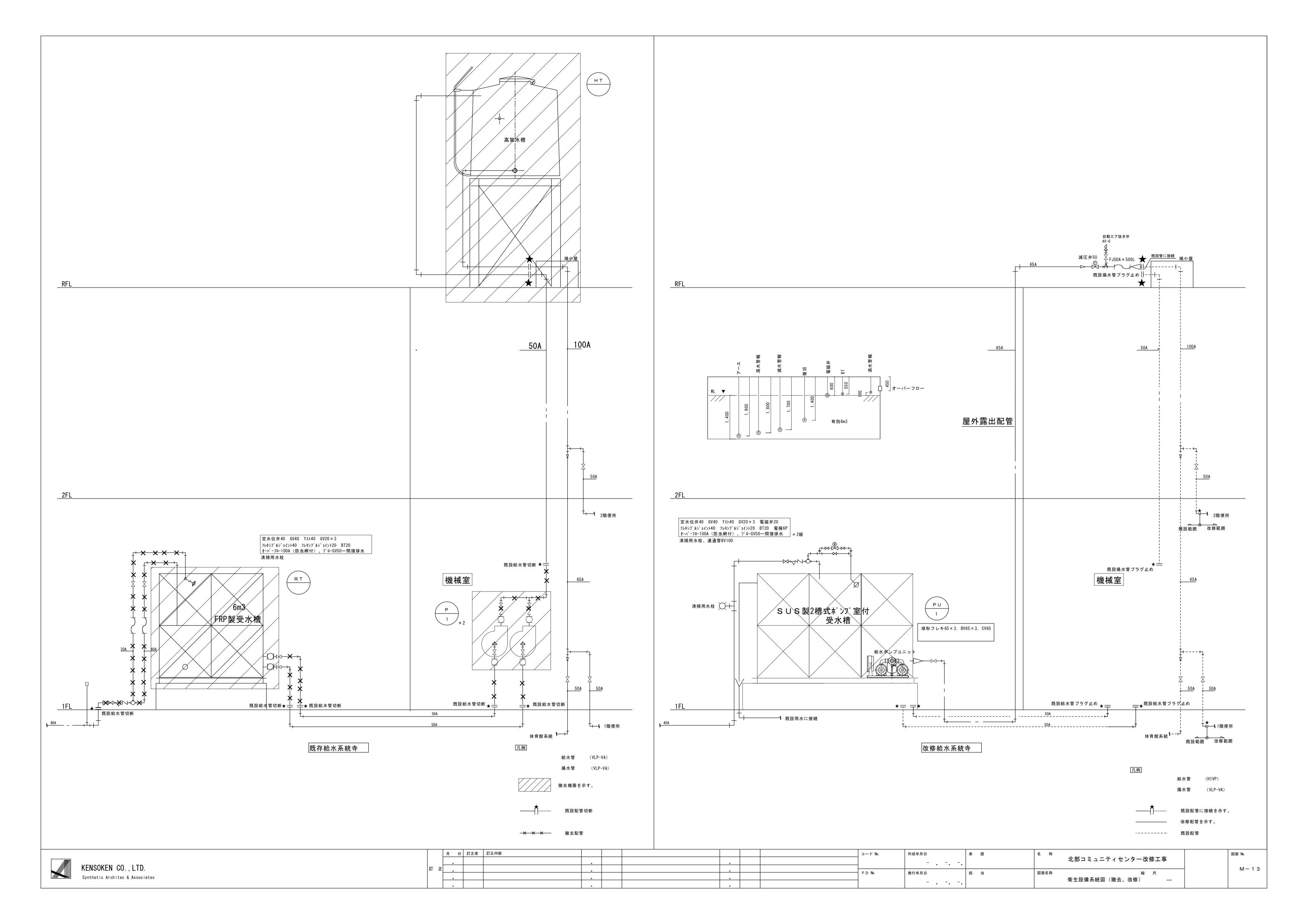
					L				数	量	 		
機器器具名称	参考品番 (TOTO)	機器器具仕様		合計	男子トイレ	女子トイレ	階多目的トイレ	受乳室	5 タイトイ	`   <b> </b> -	屋 外		備考
掛式便器	GFS496BK TCF587 YH701	フラッシュタンク 温水洗浄便座 紙巻器(二連棚付) 1Φ-100V 消費電力320W	他付属品一式	8	1	3		1	3				
掛式便器	CFS496BC TCF5534AUY YH701	フラッシュタンク 温水洗浄便座 紙巻器(二連棚付) 1Φ-100V 消費電力311W	他付属品一式	2			1			1			
トストメイトパック	UAS81RSB2N	タンク式 電気温水器 1Φ-100V 消費電力631W	他付属品一式	2			1			1			
∖便器	UFS900JCS	自動洗浄 壁掛低リップ式 1Φ-100V 消費電力24W	他付属品一式	4	2			2					
よめ込み洗面器	L350C TLE26506J TLDS2105J T6BR	自動単水栓 床給水 床排水 1Φ-100V 消費電力0.6W *カウンターは建築工事	他付属品一式	8	2	2		2	2				
壁掛手洗器	LSE870RNBSFRR	自動単水栓 床給水 床排水 電気温水器 1Φ-100V 消費電力600.6W	他付属品一式	2			1			1			
壁掛洗面器	L270C	自動単水栓 壁給水 壁排水 1Φ-100V 消費電力0.6W	他付属品一式	2			1			1			
マルチシンク	SK500	レバー式単水栓	他付属品一式	4	1	1		1	1				
と粧鏡	YW4560F	耐食鏡 450×600	他付属品一式	10	2	2	1	2	2	1			
フック	YRH406	<b>亜鉛合金製</b>	他付属品一式	6			3			3			
電気温水器	REW12A1DKSCW	適温出頭タイプ 12リットル	他付属品一式	1				1					
手洗いカウンター	建築工事												
ライニング面台	建築工事												
手摺	建築工事												
<del>流</del> し	建築工事												
コンパクトキッチン	建築工事								+		+		
おむつ換え台	建築工事								+				
										+			

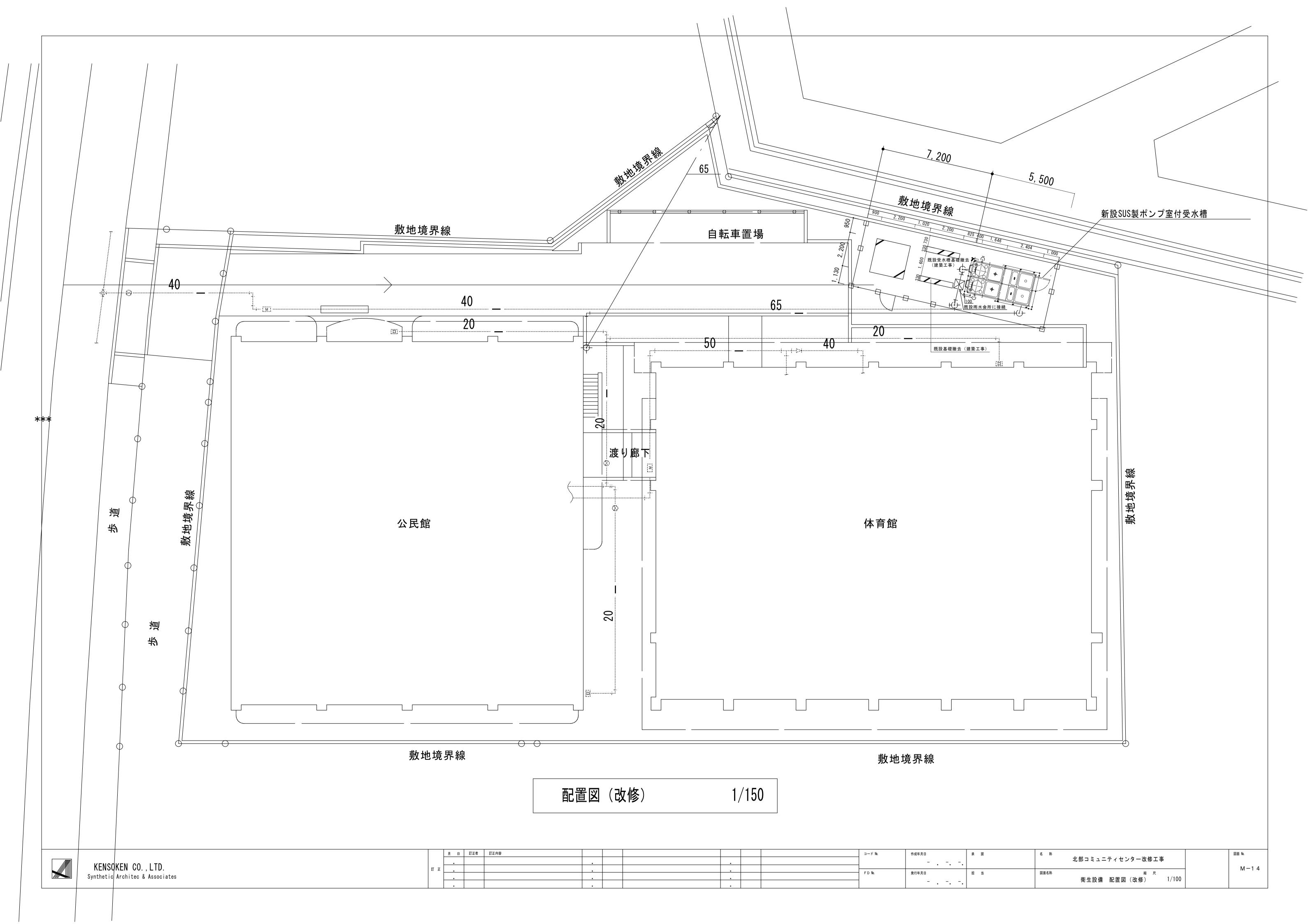
					L				3	数 :	量		
機器器具名称	参考品番	機器器具仕様	機器器具仕様				階多目的トイレ	授乳室	男子トイレ	女子トイ	-	外部 屋 外	備考
風大便器	C-750VF T82C32	フラッシュバルブ	他付属品一式	8	1	3			1	3			
障者用大便器	C-48A	フラッシュバルブ	他付属品一式	1			1						
<b>身障者用大便器</b>	C-710	フラッシュバルブ	他付属品一式	1							1		
ストール小便器	U-307	フラッシュバルブ	他付属品一式	4	2				2				
はめ込み洗面器	L230	単水栓 床給水 床排水	他付属品一式	8	2	2			2	2			
壁掛洗面器	L103D	単水栓 壁給水 壁排水	他付属品一式	2			1				1		
帚除用流し	SK22A	レバー式単水栓	他付属品一式	4	1	1			1	1			
化粧鏡	YW4560F	耐食鏡 450×600	他付属品一式	10	2	2	1		2	2	1		

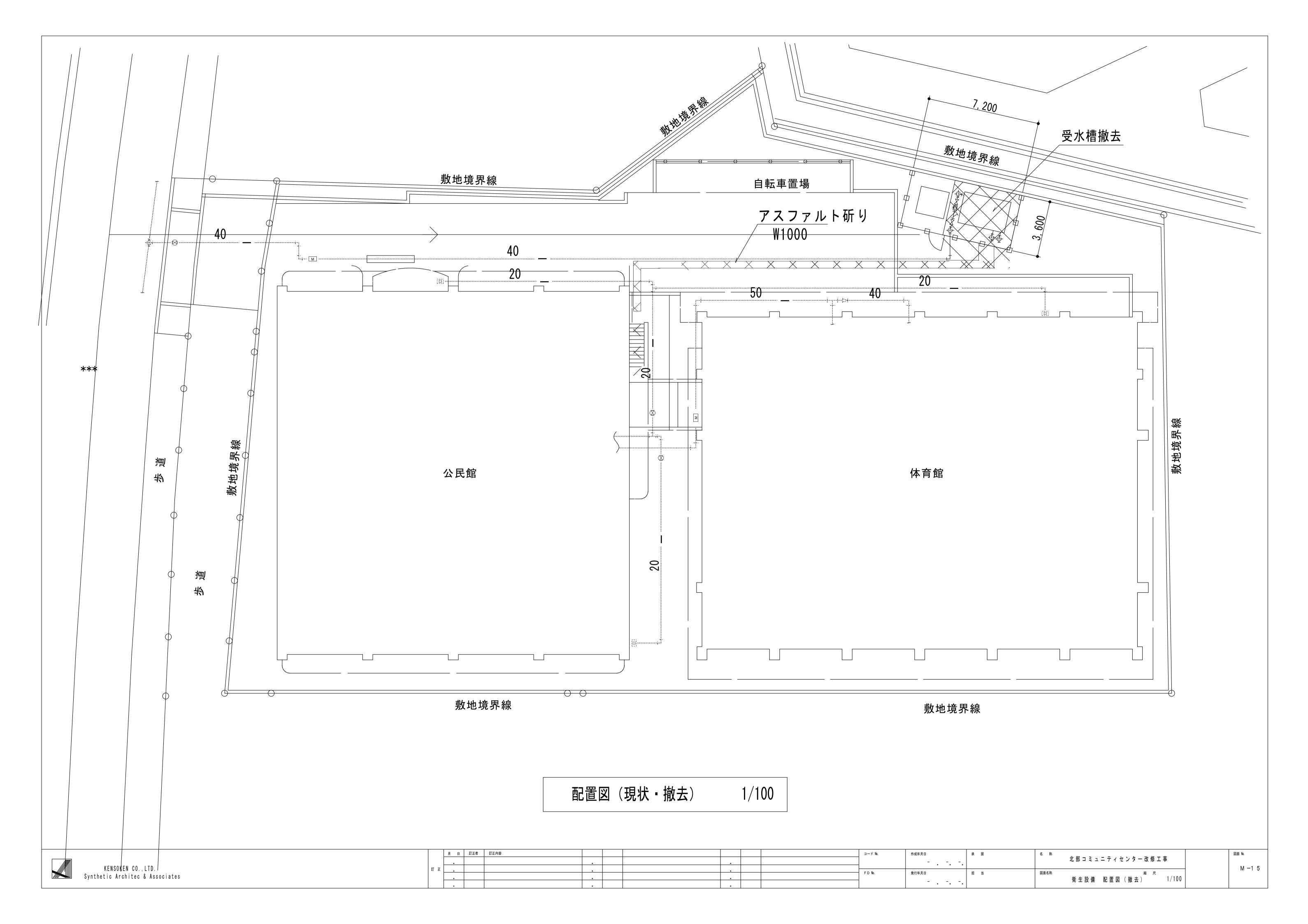
KENSOKEN CO., LTD. Synthetic Architec & Associates

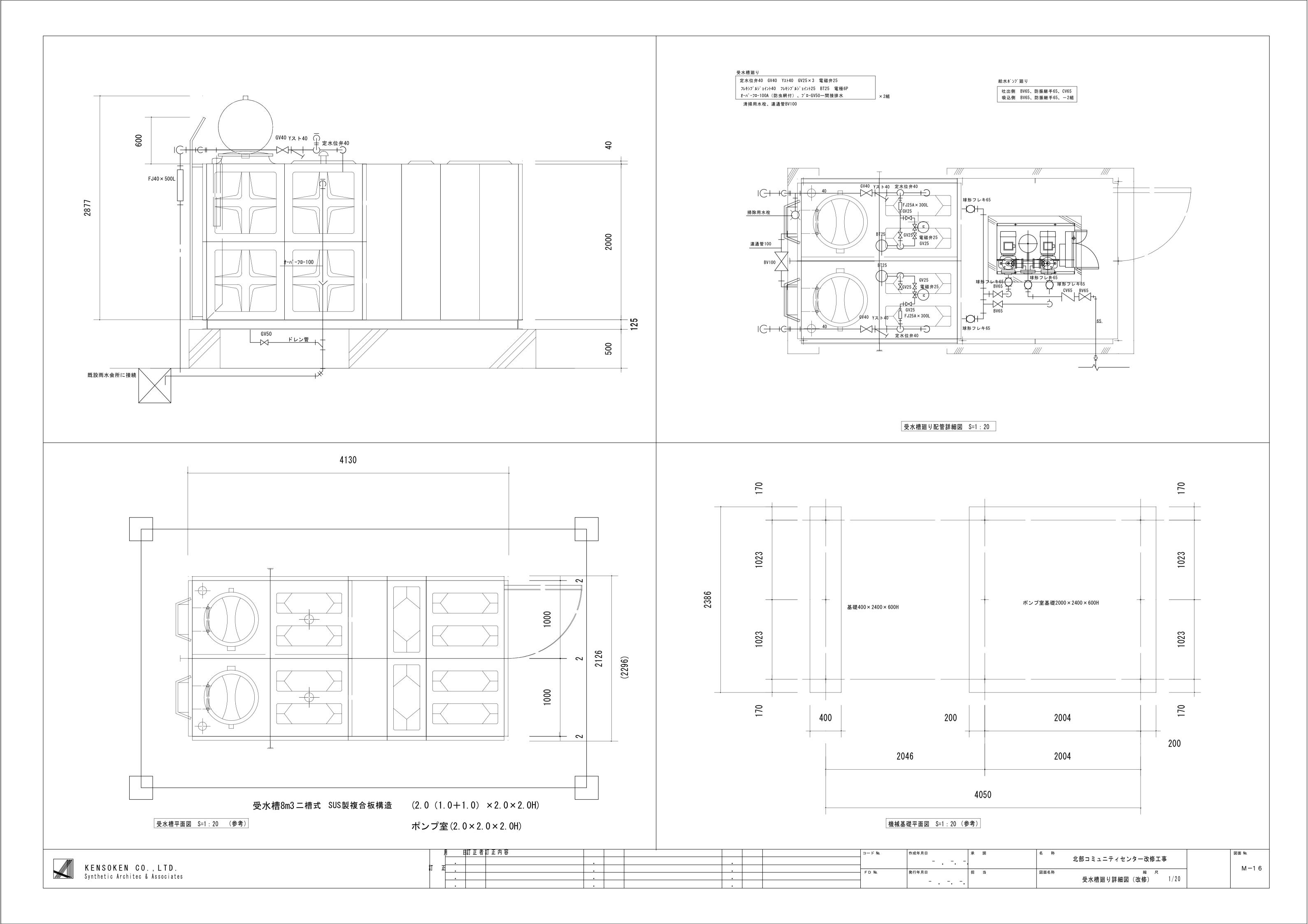
PU-1 自動給水ユニット

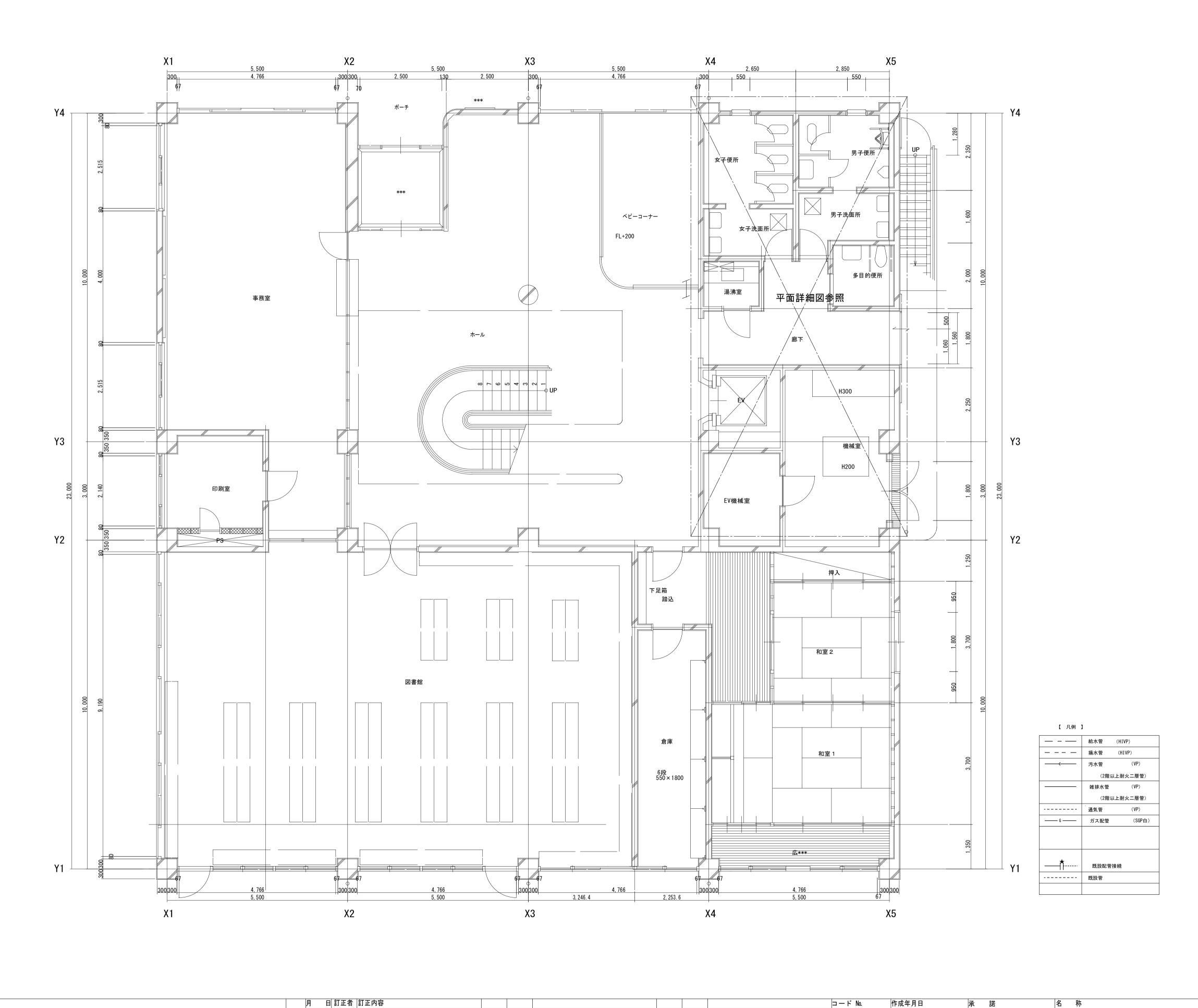
	月日	訂正者	訂正内容					コード No.	作成年月日	承	諾	名 称	
				•		•							北部コミュニティセンター改修工事
訂	E .								26-6-8-8				<u> </u>
						•		7 FD No.	発行年月日	担	当	図面名称	縮 尺 衛生設備機哭恚(拗去・改修) NON
	٠					•							衛生設備機器表(撤去・改修) NON NON











· F

 作成年月日
 承諾

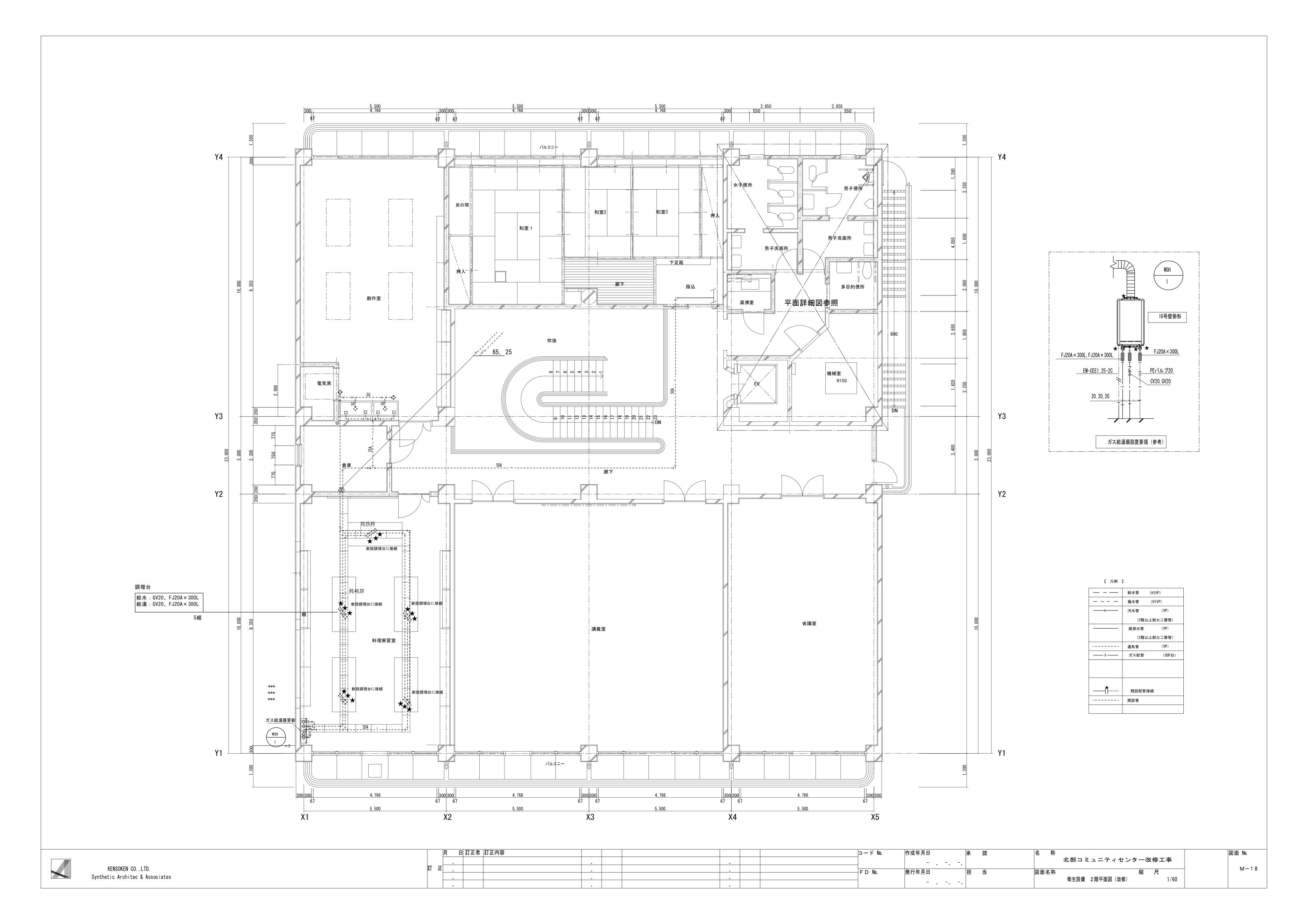
 - 。 -。 -。
 北部コミュニティセンター改修工事

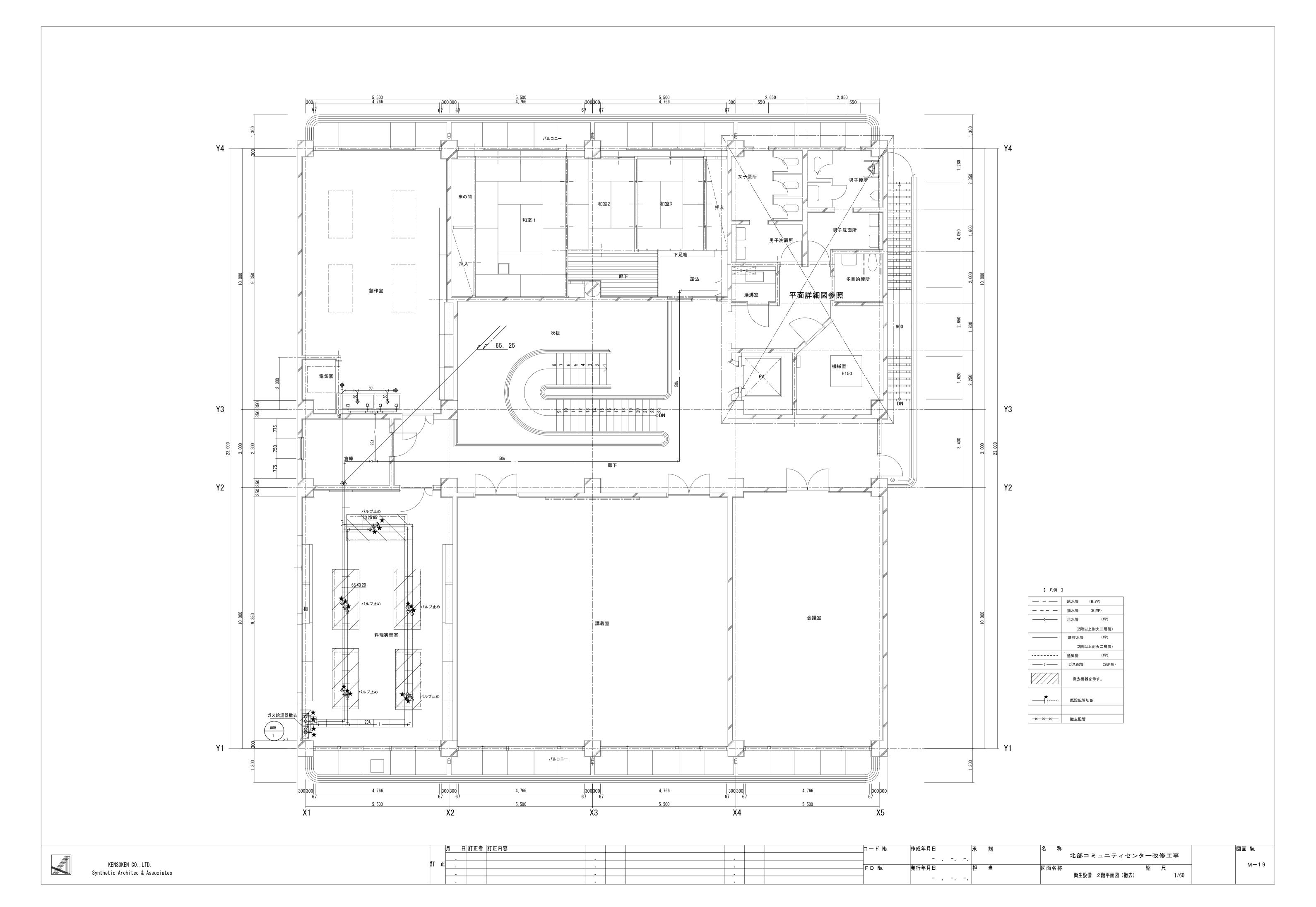
 発行年月日
 担当

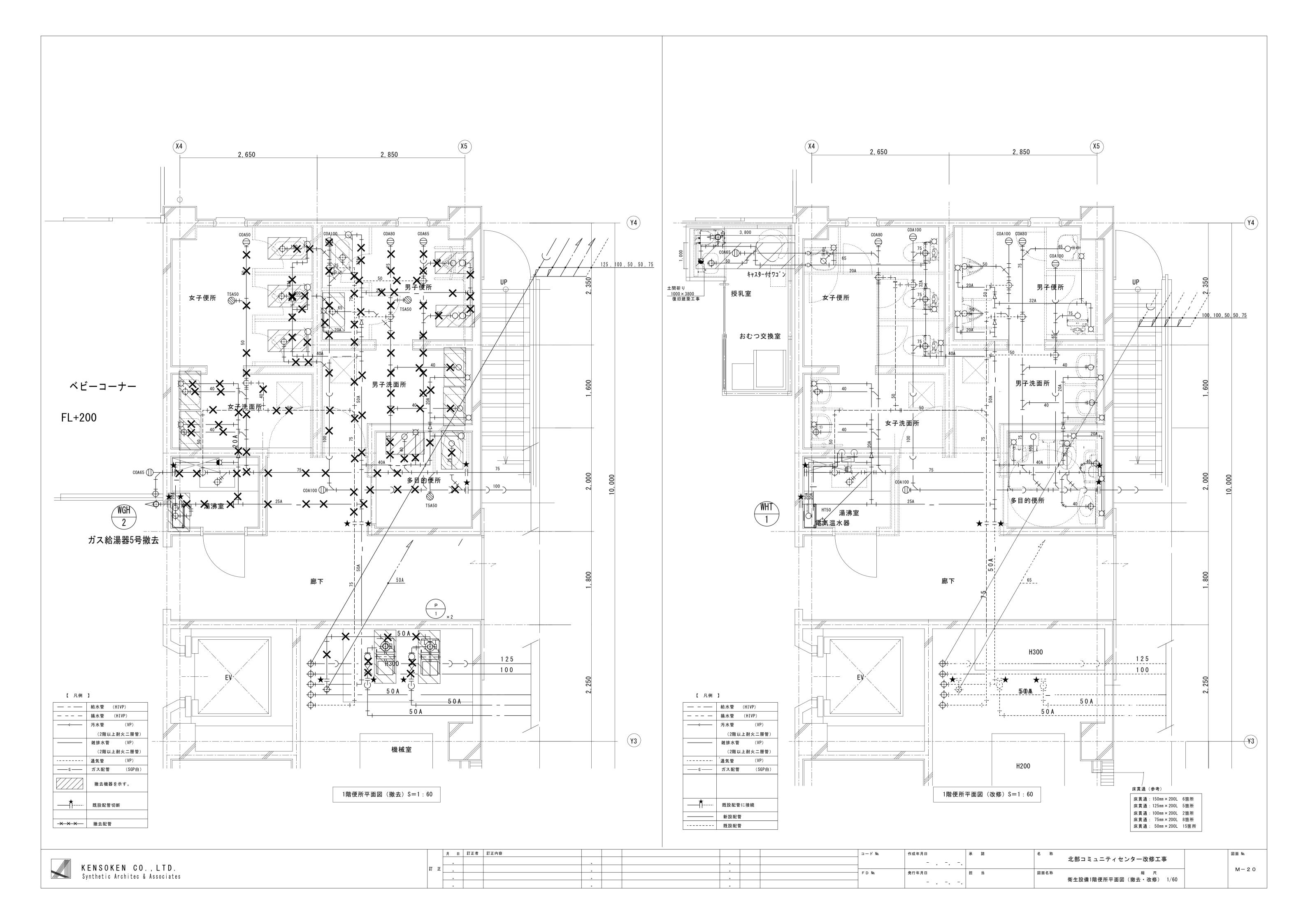
 - 。 -。 -。
 衛生設備 1階平面図(改修)

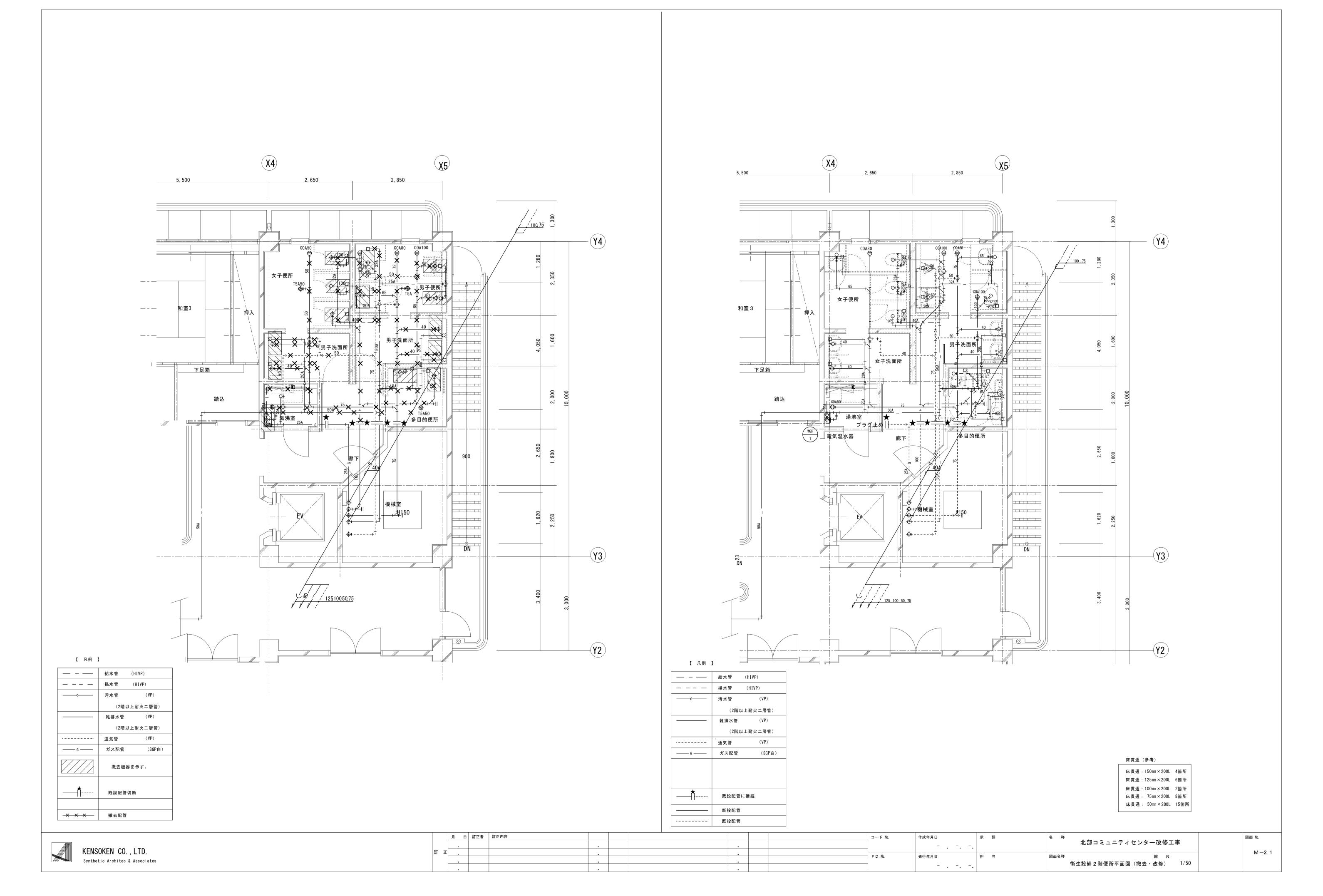
1/60

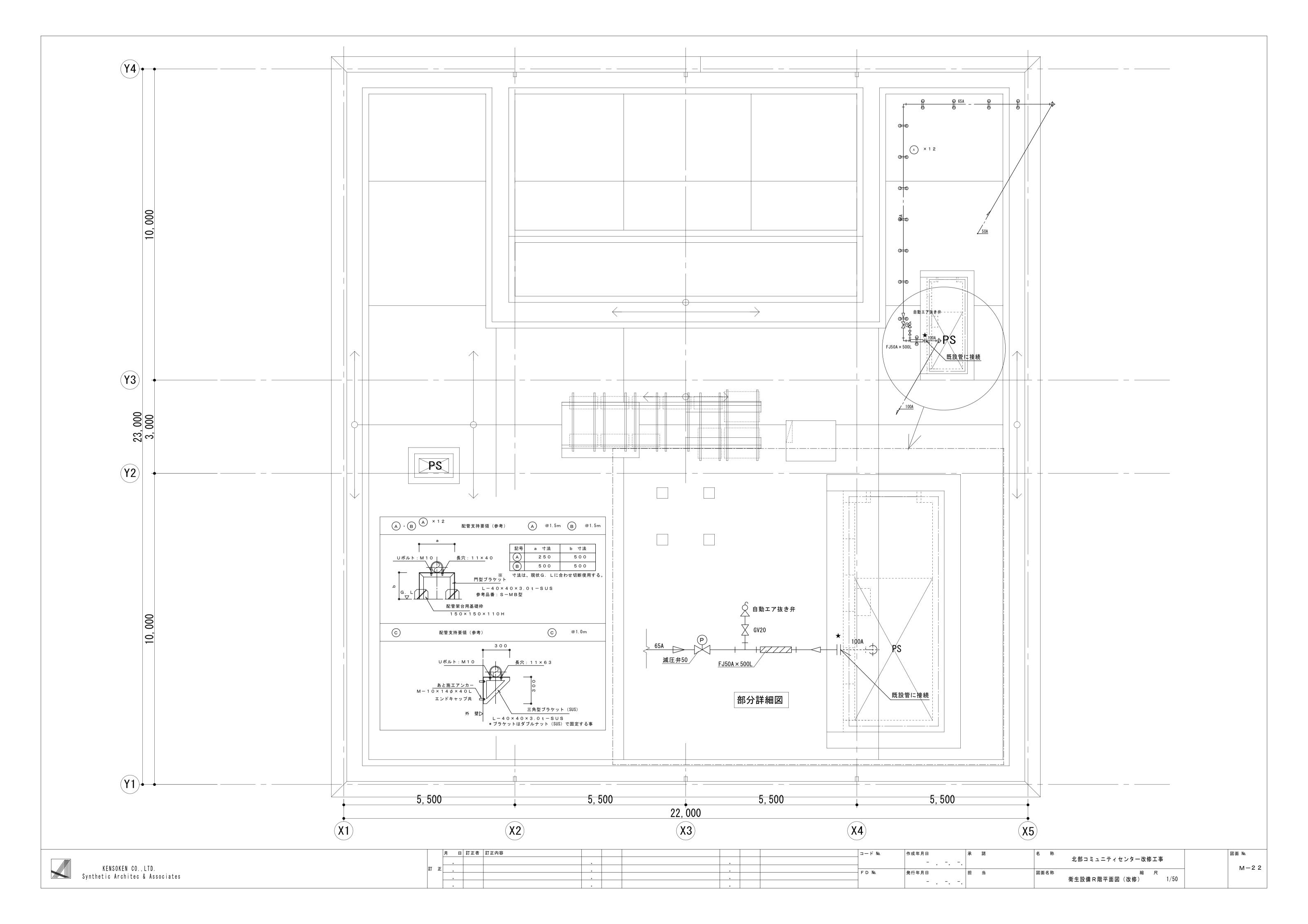
図面 No. M-17

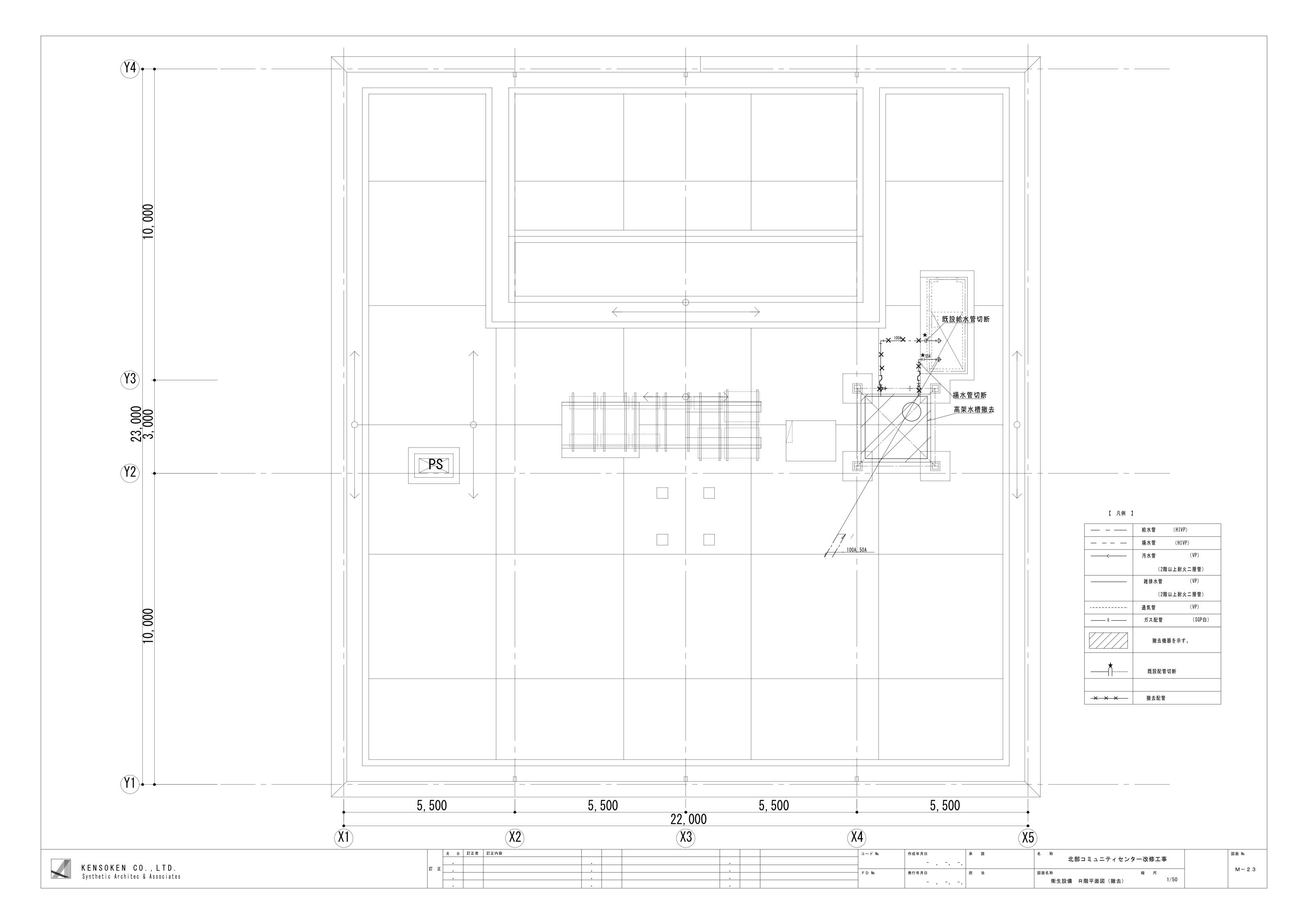












#### 空調換気機器類リスト(改修)

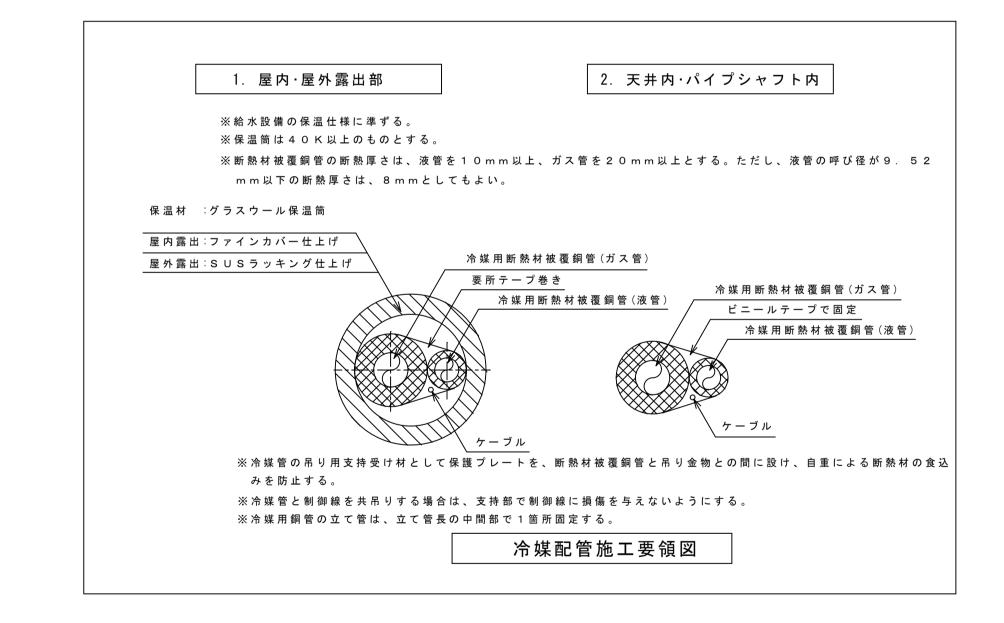
記号	│ │ 名称	仕様	電源	60HZ	台数	室内機設置場所 室内機設置場所	│ 室外機設置場所	世 <b>本</b> / <del>全 本 口 平</del>
記方	<b>石</b> 柳	1工作來	φ-V	KW	百剱	至內險設直场所	全外(機設直場)所 	備考(参考品番
BMA-1	ビル用マルチ室外機	型式 床置形	3-200		1		受水槽置場	RXYP450FC
		冷房出力 45.0kw	CONP	13. 7 × 1				
		暖房出力 50.0kw	FAN(内)					(ダイキン工業)
		冷媒種別 R410A	FAN (外)	0.66×2				
		防振架台共						
SMA1-1	ビル用マルチ室内機	型式 天吊形	1-200		4	体育館		FXYHP112NB
		冷房出力 11.2kw	CONP					「ババドバZND (ダイキン工業)
		暖房出力 12.5kw	FAN(内)	0. 150				(ダイヤン工業)
		冷媒種別 R410A	FAN (外)					
		付属品 ワイヤードリモコン 防球ガード 集中リモコン	φ-V	KW				
SMA-2	ビル用マルチ室外機	型式 床置形	3-200		1		受水槽置場	DVVD4F0F0
		冷房出力 45.0kw	CONP	13. 7 × 1				RXYP450FC
		暖房出力 50.0kw	FAN(内)					(ダイキン工業)
		冷媒種別 R410A	FAN (外)	0.66×2				
		防振架台共						
SMA2-1	ビル用マルチ室内機	型式 天吊形	1-200		4	体育館		FXYHP112NB
		冷房出力 11.2kw	CONP					(ダイキン工業)
		暖房出力 12.5kw	FAN(内)	0. 150				(メイイン工未)
		冷媒種別 R410A	FAN (外)					
		付属品 ワイヤードリモコン 防球ガード 集中リモコン						
FF-1	エアー搬送ファン		1-100	0. 151	8	体育館		AH-3009SA-SC
		風量:2020m3/h						(三菱電機)
		ワイヤードリモコン その他付属品一式 防球ガード						

## 空調換気機器類リスト(撤去)

記号	AT TH	仕様	電源	60HZ	<b>√&gt;</b> ₩h	- 1. 字 担 元	# <del>*</del>
記号	名称	1工作。	φ-V	KW	台数	設置場所	備考
AC-1	ルームエアコン	型式 壁掛形 冷房出力	1–100		1	体育職員室	
		暖房出力					
		冷媒種別					
F-1	標準換気扇	型式 低騒音形	1-100		2	男子便所	
		風量 900m3/h				女子便所	
		付属品 ウェザ゛ーカハ゛ー共					
F-2	ストレートファン	型式 低騒音形	1-100		1	体育職員室	
		風量					
		付属品					

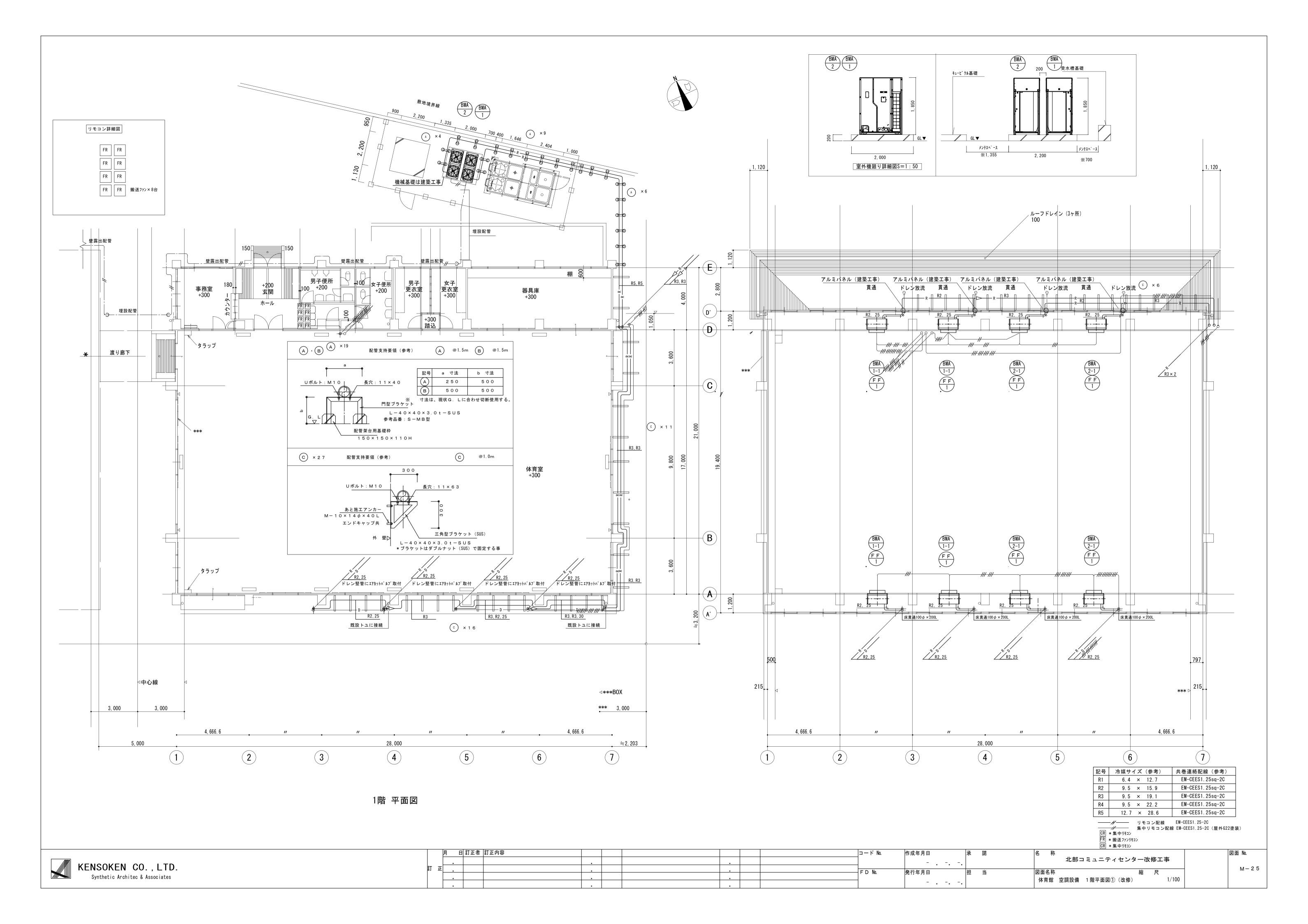
# 換気機器リスト(改修)

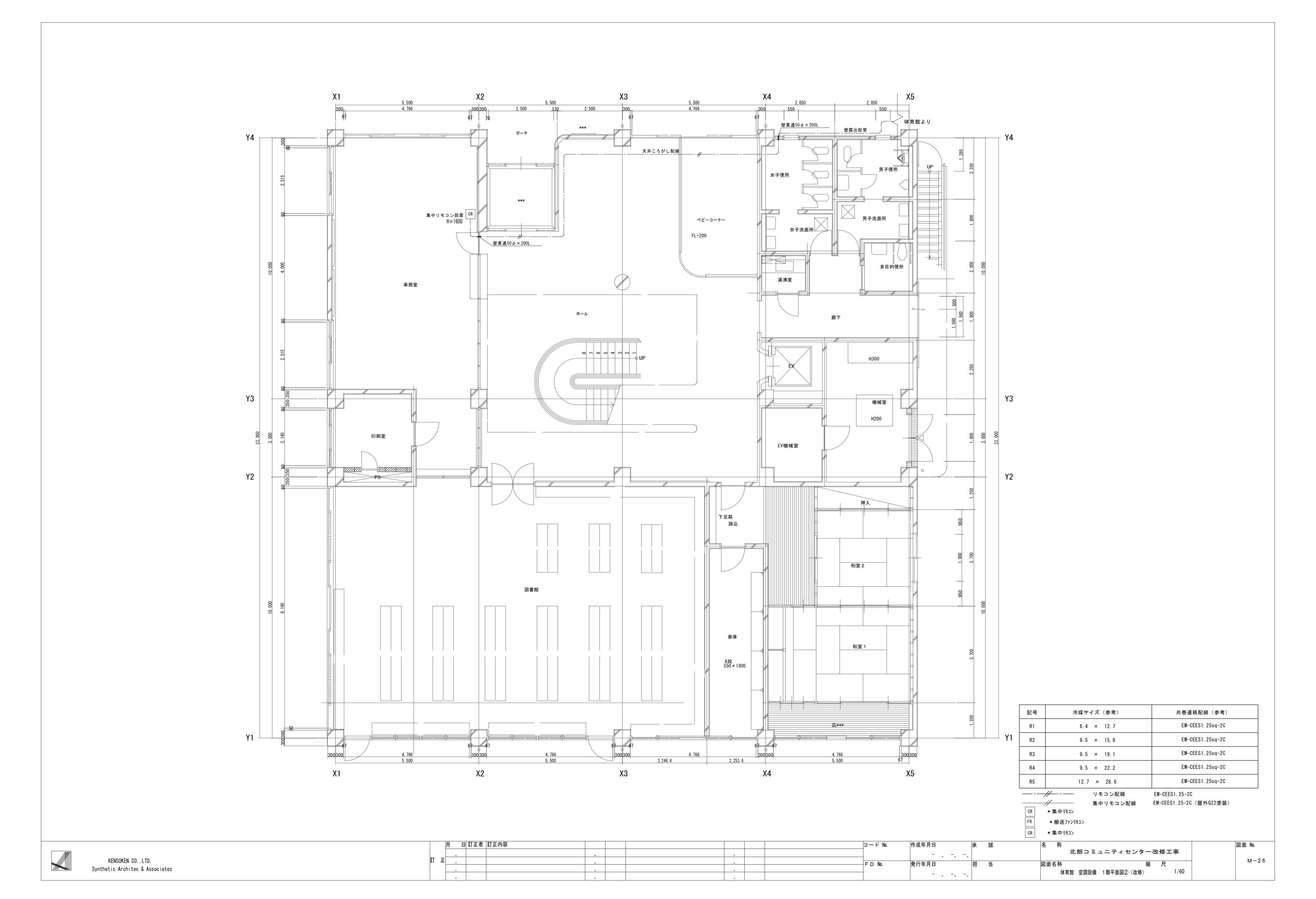
記号	   名称		仕様		60HZ	台数	- 10 = 10 = C	世本 ( <u>*</u> ** (*** (*** (*** (*** (*** (*** (*
正方 EF-1	石 M				φ -V KW		設置場所	備考(参考品番)
EF-1	標準換気扇	型式 低馬	<b>掻音形</b>	1-100	0. 0305	2	男子便所	EX-30EK9-C
		風量	900m3/h				女子便所	/ <del>- ** **</del> ***
		付属品	ウェザ゛ーカハ゛-共					(三菱電機)
EF-2	天井埋込換気扇	型式 低馬	<u> </u>	1-100	0. 0155	2	男子更衣室	VD-15Z13
		風量	$140m3/h \times 40Pa$				女子更衣室	(三菱電機)
		付属品	深形フード・他付属品共					二发电做
EF-3	天井埋込換気扇	型式 低馬	<b>通音形</b>	1-100	0. 082	1	器具庫	VD-23ZB13
		風量	450m3/h × 80Pa					(三菱電機)
		付属品	深形フード・他付属品共					(二发电饭)
HEX-1	全熱交換機	型式	天井埋込形 低騒音形	1-100	0. 128	1	事務室	LGH-N25CX2
		風量	$180m3/h \times 200Pa$					(三菱電機)
		付属品	リモコン					二发电版
			リモコンは電気工事に支給取付は電気工事					
			他標準付属品一式 共					

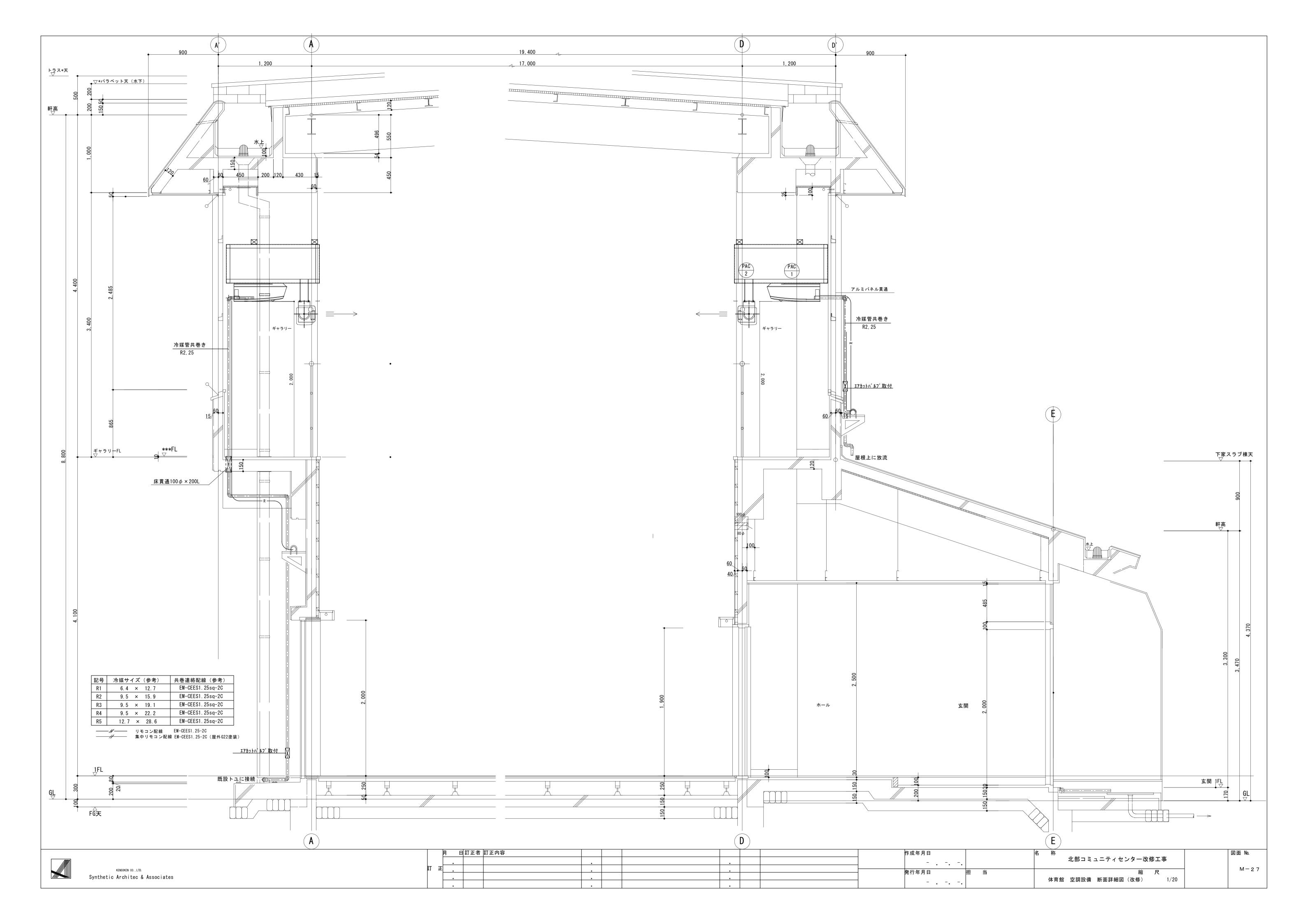


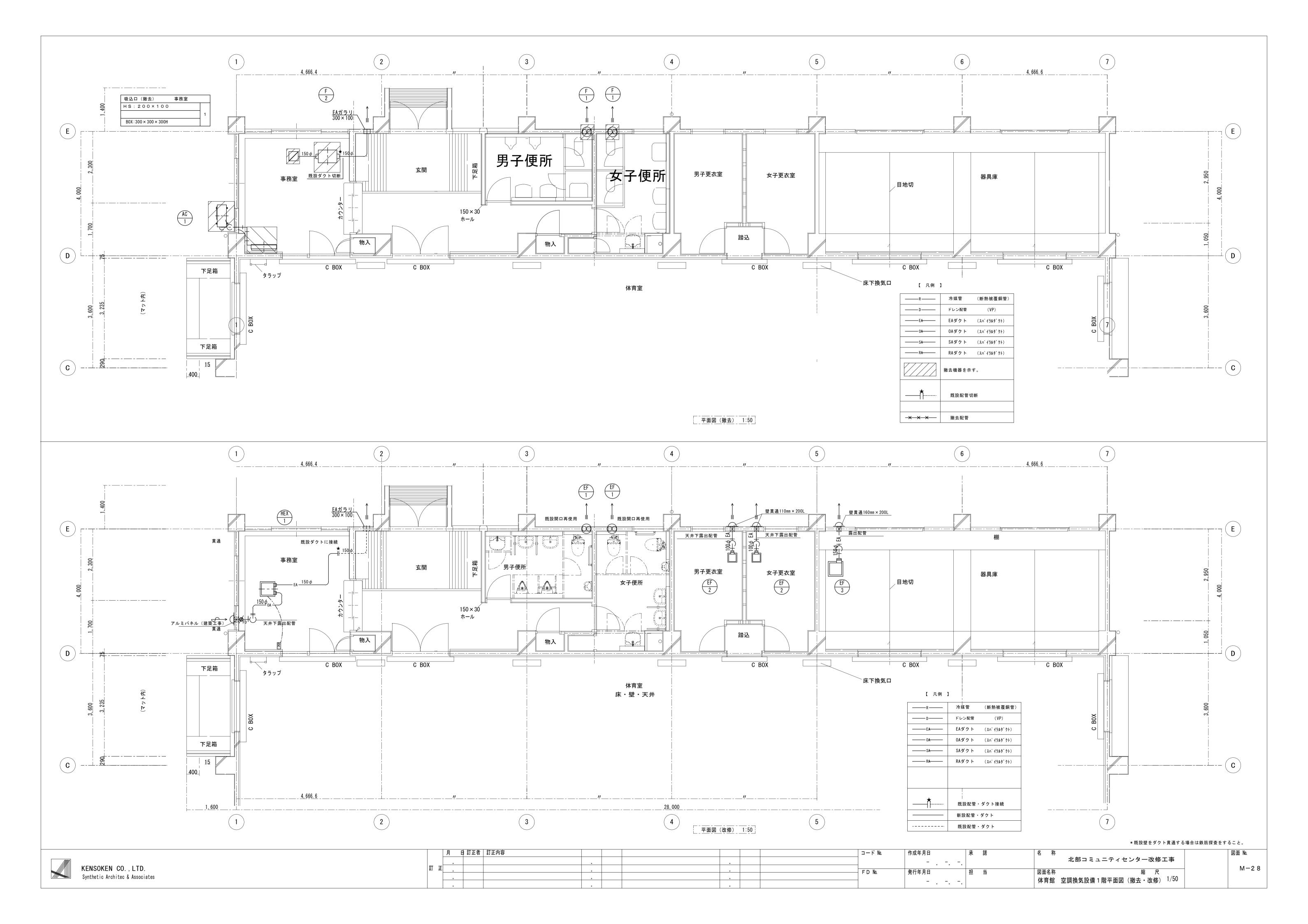
			コード No.	作成年月日 - 。 -。 -。	承 諾	名 称 北部コミュニティセンター改修工事
			FD No.	発行年月日	<b></b>	図面名称 縮 尺
			1 5 110.	7.11 + 7.11		体育館 空調機器リスト (撤去・改修) 1/100
•	•	•				

図面 No.









改修機具表

							数	量		
機器器具名称	参考品番 (T0T0)	機器器具仕様		合計	男子トイレ	1階 女子トイレ			外部 屋 外	備考
掛式便器	GFS496BK TCF587 YH701	フラッシュタンク 温水洗浄便座 紙巻器(二連棚付) 1Φ-100V 消費電力320W	他付属品一式	3	1	2				
小便器	UFS900JCS	自動洗浄 壁掛低リップ式 1Φ-100V 消費電力24W	他付属品一式	2	2					
壁掛洗面器	L270C	自動単水栓 壁給水 壁排水 1Φ-100V 消費電力0.6W	他付属品一式	4	2	2				
<b>比粧鏡</b>	YW4560F	耐食鏡 450×600	他付属品一式	4	2	2				
マルチシンク	SK500	レバー式単水栓	他付属品一式	2	1	1				

# 撤去機具表

1版	<u> </u>											
							3	数  量				
						1 阼	t i	外部				
機器器具名称	参考品番	機器器具仕様	含計	î  -	男子トイレ	女子トイレ				外		備考
和風大便器	C-750VF T82C32	フラッシュバルブ 他付属品一式	3		1	2						
ストール小便器	U-307	フラッシュバルブ 他付属品一式	2		2							
はめ込み洗面器	L230	単水栓 床給水 床排水 他付属品一式			2	2						
	L230											
掃除用流し	SK22A	世界の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の	2		1	1						
化粧鏡	YW4560F	耐食鏡 450×600 他付属品一式	: 4		2	2						

	月 日	訂正者	訂正内容		コード No.	作成年月日	承諾	名 称		i
	۰		0						北部コミュニティセンター改修工事	ı
訂正	۰						le «			i
					FD No.	発行年月日	担 当	図面名称	縮一尺	i
	•		0	•	-			体育飢	常 衛生器具リスト (撤去、改修) NON	ı
	٠					• • •				

